

滋賀県 景況調査結果報告書

令和5年度 第3四半期
(令和5年10～12月期)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和5年10～12月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	360	33	7	3	403
(割合)	89.3%	8.2%	1.7%	0.7%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和5年11月1日～11月22日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数:403社(回答率53.7%)

※大企業23社、中小企業380社(うち小規模事業者148社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	9	1	1	4	8	23
中小企業・ 小規模事業者	137	68	27	48	100	380
合計	146	69	28	52	108	403
(業種別比率)	36.2%	17.1%	6.9%	12.9%	26.8%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	12	15	5	10	19	61
南部地域	32	12	4	11	18	77
甲賀地域	21	6	3	7	14	51
東近江地域	24	11	9	9	11	64
湖東地域	16	7	4	6	19	52
湖北地域	22	10	2	6	16	56
高島地域	19	8	1	3	11	42
合計	146	69	28	52	108	403

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲6.7と、前期と比べて5.1ポイント悪化した。
来期は▲10.4と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では+4.3とプラス幅が縮小し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲7.4とマイナス幅が拡大した。
来期は、大企業が0.0とプラス幅が縮小し、中小企業は▲11.1とマイナス幅が拡大する見通しである。
- **【業種別】** 前期と比べて、製造業・卸売業で改善し、建設業、小売業、サービス業で悪化した。
来期は、製造業はマイナス幅が縮小する一方、建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大、サービス業はマイナスに転じるなど、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和5年10~12月期、来期:令和6年1~3月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

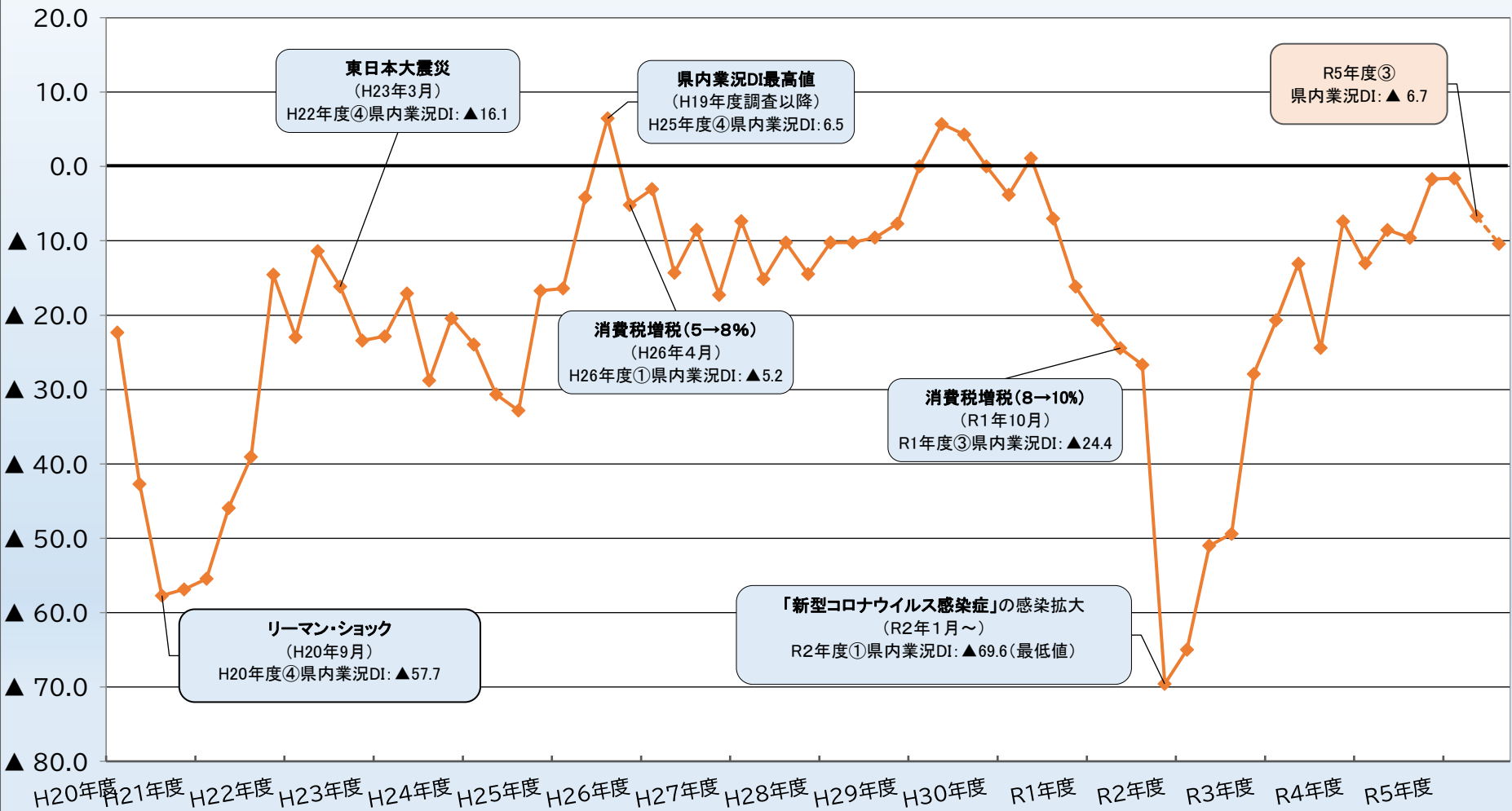
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業況DIの推移

(平成20年度 第1四半期～令和5年度 第3四半期)



1. 調査概要

2. 全体

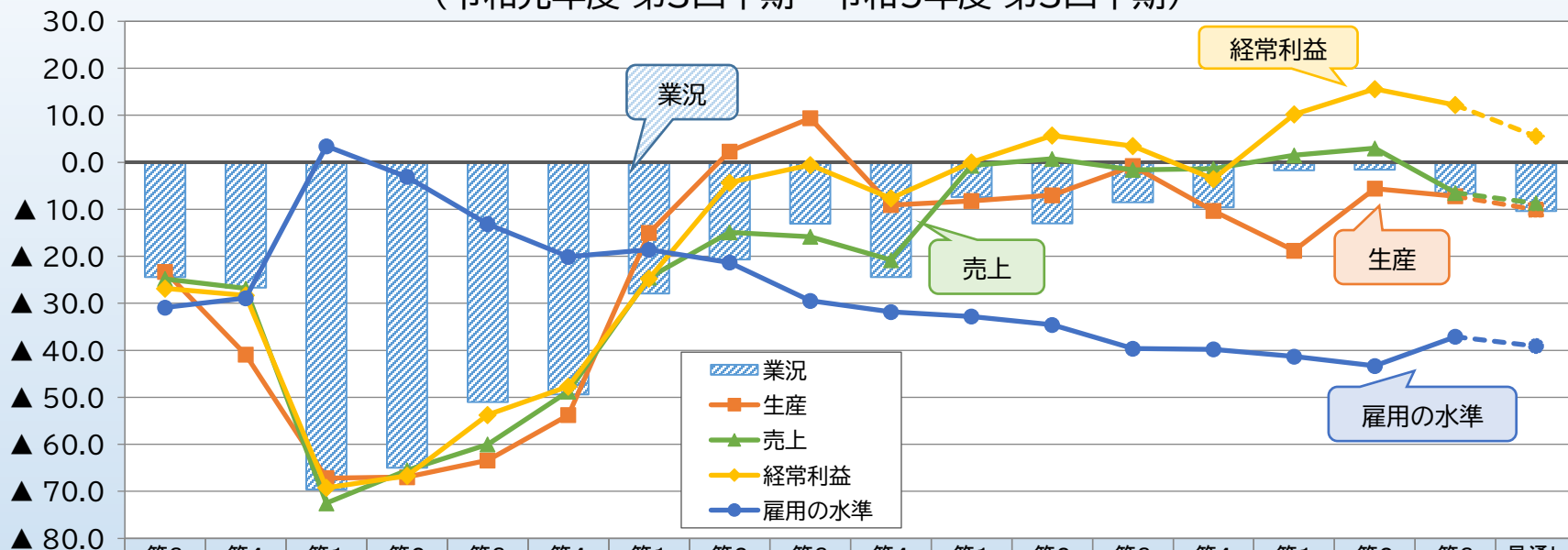
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

各種DIの推移

(令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)



	第3 R1(2019)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度					
業況	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 10.4
生産	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 10.1
売上	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 6.5	▲ 8.7
経常利益	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	15.6	12.2	5.5
雇用の水準	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 37.1	▲ 39.1

【今期(令和5年10～12月期)の景況】※前年同時期との比較

業況DI、生産DIはマイナス幅が拡大、売上DIはマイナスに転じ、経常利益DIはプラス幅が縮小した。
雇用の水準DIはマイナス幅が縮小し、不足感が弱まった。

【来期(令和6年1～3月期)の見通し】

業況DI、生産DI、売上DIはマイナス幅が拡大し、経常利益DIはプラス幅が縮小する見通し。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

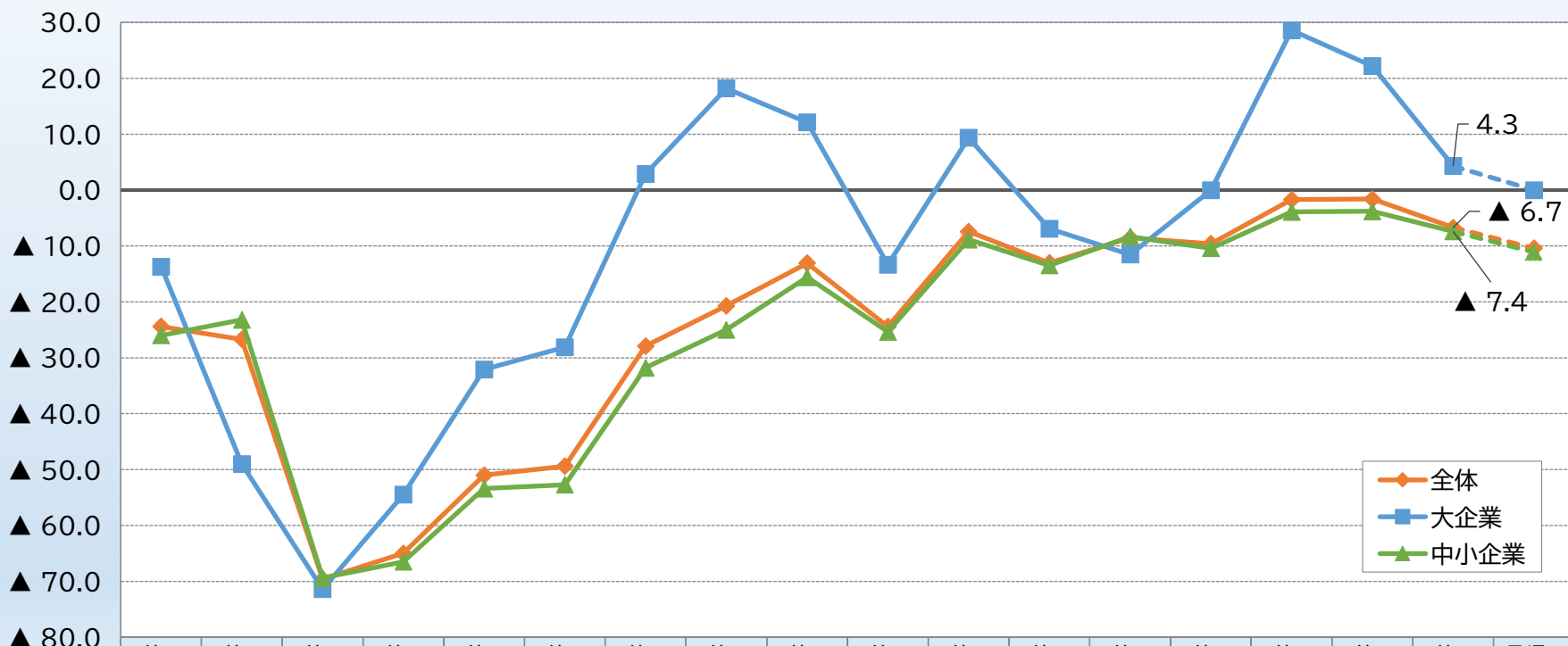
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業規模別】業況DIの推移 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)



【大企業】	今期:+4.3とプラス幅が縮小した。	来期:0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【中小企業】	今期:▲7.4とマイナス幅が拡大した。	来期:▲11.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

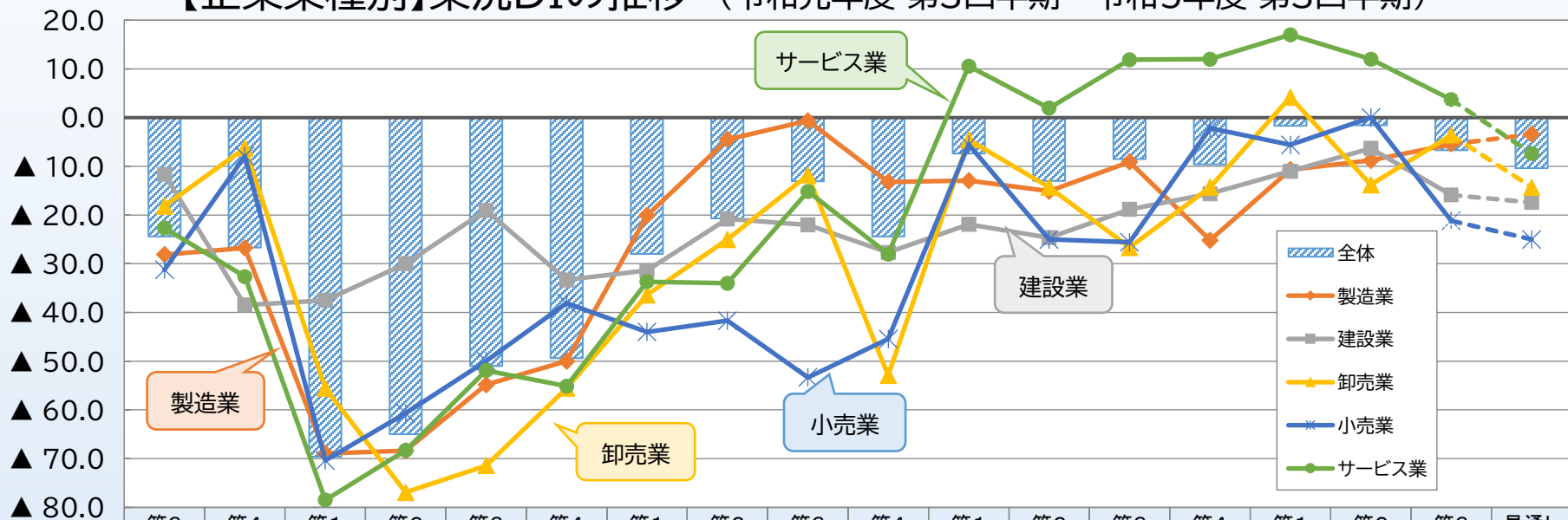
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

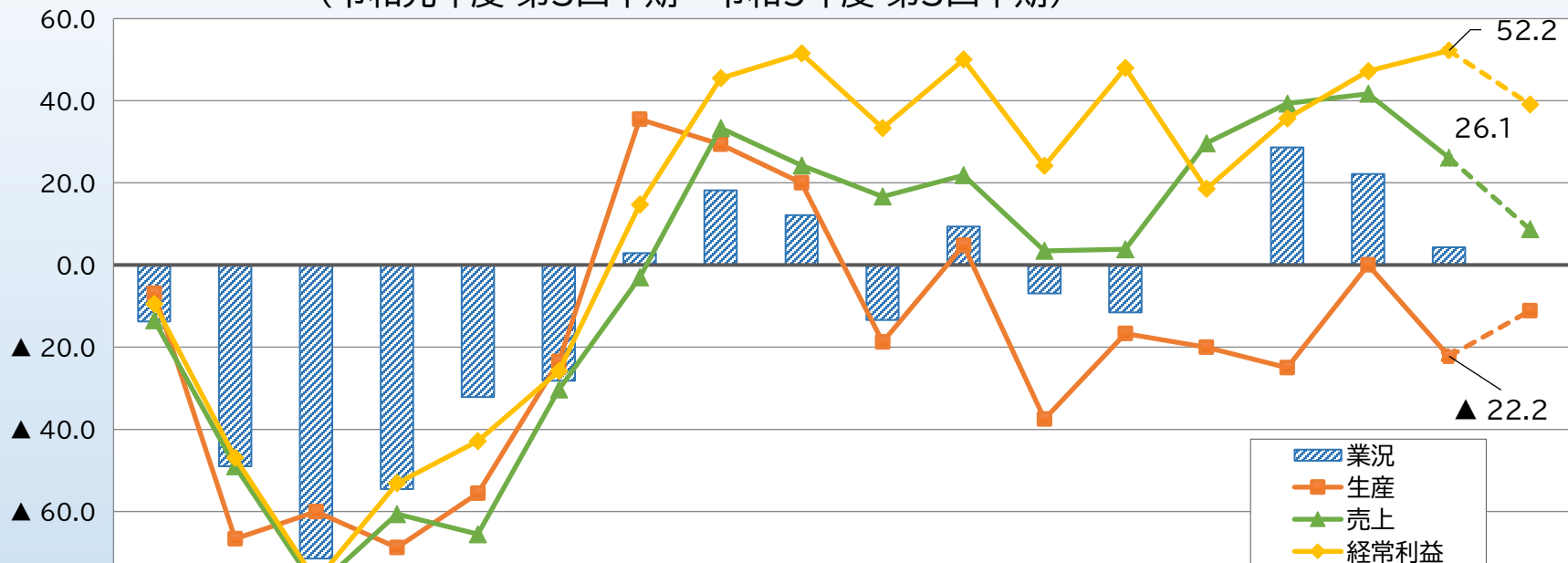
【企業業種別】業況DIの推移 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)



	第3 R1(2019)年度	第4	第1 R2(2020)年度	第2	第3	第4	第1 R3(2021)年度	第2	第3	第4	第1 R4(2022)年度	第2	第3	第4	第1 R5(2023)年度	第2	第3	見通し
全体	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 10.4
製造業	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 3.4
建設業	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 17.4
卸売業	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 14.3
小売業	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 25.0
サービス業	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 7.4

【製造業】	今期: ▲5.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲3.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲15.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲3.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期: ▲21.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【サービス業】	今期: +3.7とプラス幅が縮小した。	来期: ▲7.4とマイナスに転じる見通し。

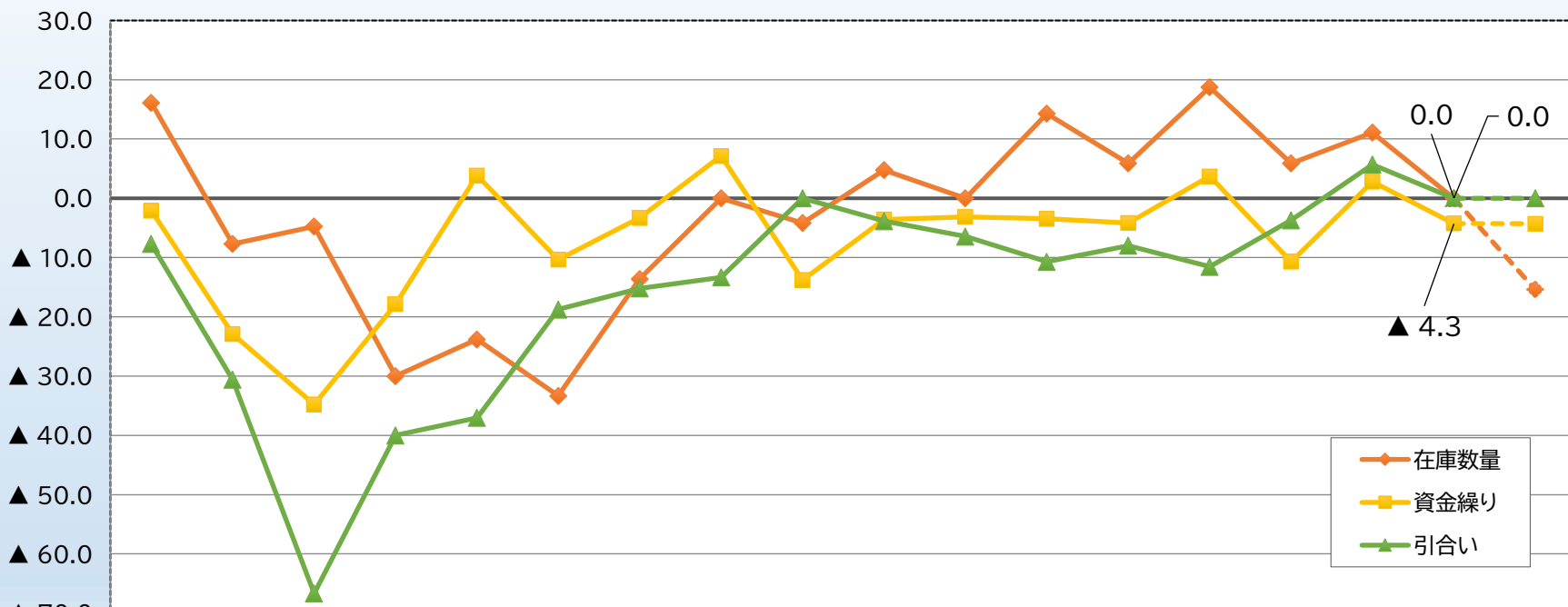
【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)



	R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し		
業況	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	0.0		
生産	▲ 6.9	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	▲ 11.1		
売上	▲ 13.5	▲ 49.0	▲ 78.6	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	29.6	39.3	41.7	26.1	8.7		
経常利益	▲ 9.4	▲ 46.9	▲ 76.9	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	18.5	35.7	47.2	52.2	39.1		

【業況】	今期: +4.3とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲22.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲11.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +26.1とプラス幅が縮小した。	来期: +8.7とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +52.2とプラス幅が拡大した。	来期: +39.1とプラス幅が縮小する見通し。

【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

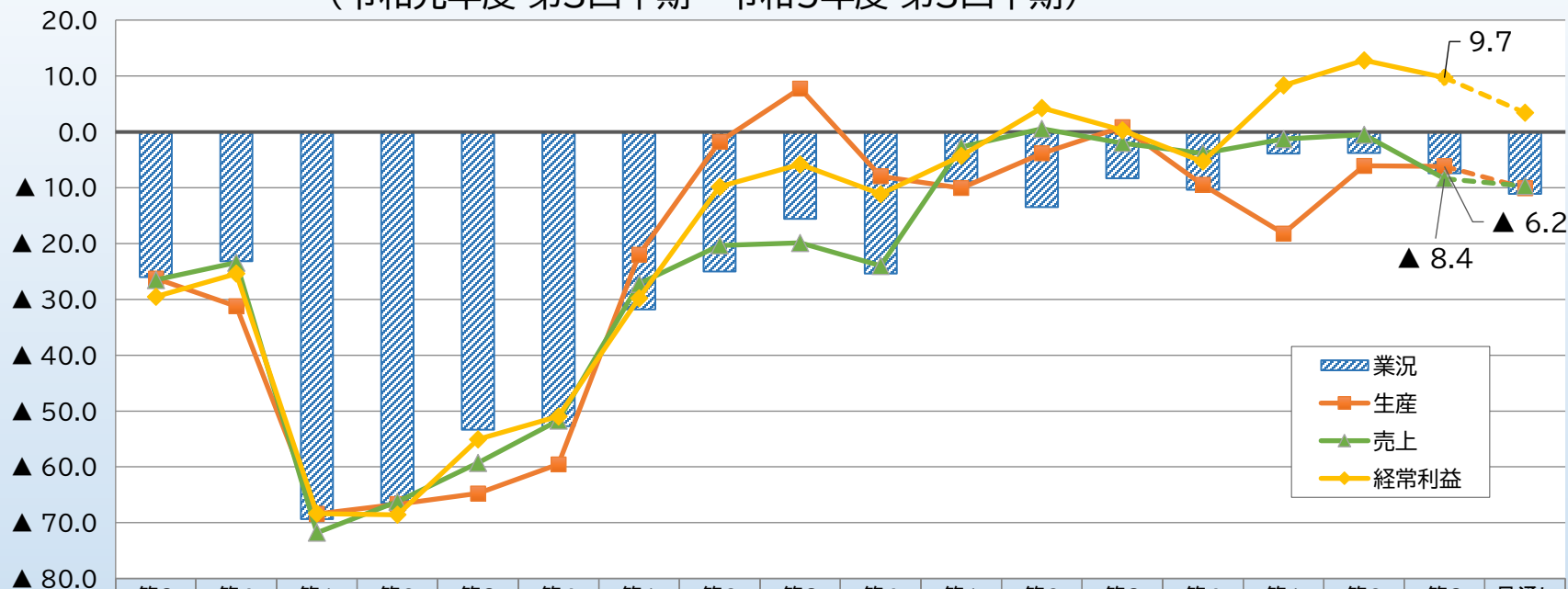


	第3 第4		第1 第2 第3 第4				第1 第2 第3 第4				第1 第2 第3 第4				第1 第2 第3 見通し			
	R1 (2019)年度		R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度			
在庫数量	16.1	▲ 7.7	▲ 4.8	▲ 30.0	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 13.6	0.0	▲ 4.2	4.8	0.0	14.3	5.9	18.8	5.9	11.1	0.0	▲ 15.4
資金繰り	▲ 2.1	▲ 22.9	▲ 34.8	▲ 17.9	3.8	▲ 10.3	▲ 3.3	7.1	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 3.1	▲ 3.4	▲ 4.2	3.7	▲ 10.7	2.8	▲ 4.3	▲ 4.3
引合い	▲ 7.7	▲ 30.6	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 37.0	▲ 18.8	▲ 15.2	▲ 13.3	0.0	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 10.7	▲ 8.0	▲ 11.5	▲ 3.7	5.7	0.0	0.0

【在庫数量】	今期:0.0とプラス幅が縮小した。	来期:▲15.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期:▲4.3とマイナスに転じた。	来期:▲4.3と同水準の見通し。
【引合い】	今期:0.0とプラス幅が縮小した。	来期:0.0と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

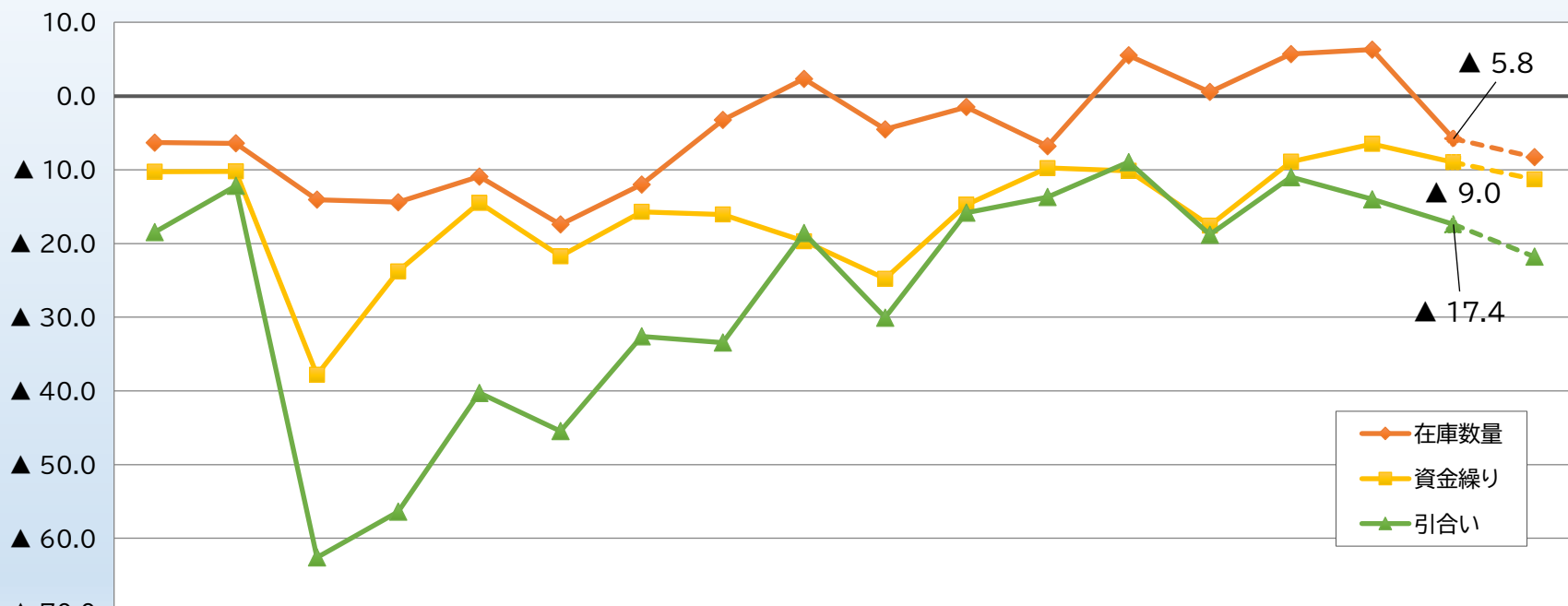


	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R1 (2019)年度		R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度			
業況	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 25.4	▲ 8.8	▲ 13.5	▲ 8.3	▲ 10.4	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 7.4	▲ 11.1
生産	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 68.4	▲ 66.7	▲ 64.8	▲ 59.6	▲ 22.0	▲ 1.8	7.8	▲ 8.0	▲ 10.1	▲ 3.8	0.8	▲ 9.5	▲ 18.2	▲ 6.1	▲ 6.2	▲ 10.1
売上	▲ 26.5	▲ 23.4	▲ 71.8	▲ 66.2	▲ 59.3	▲ 51.7	▲ 27.2	▲ 20.3	▲ 19.9	▲ 24.0	▲ 2.7	0.5	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 8.4	▲ 9.7
経常利益	▲ 29.5	▲ 25.4	▲ 68.4	▲ 68.6	▲ 55.1	▲ 51.0	▲ 29.8	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 11.1	▲ 4.3	4.3	0.3	▲ 5.3	8.3	12.8	9.7	3.4

【業況】	今期: ▲7.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲11.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲6.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲8.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲9.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +9.7とプラス幅が縮小した。	来期: +3.4とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

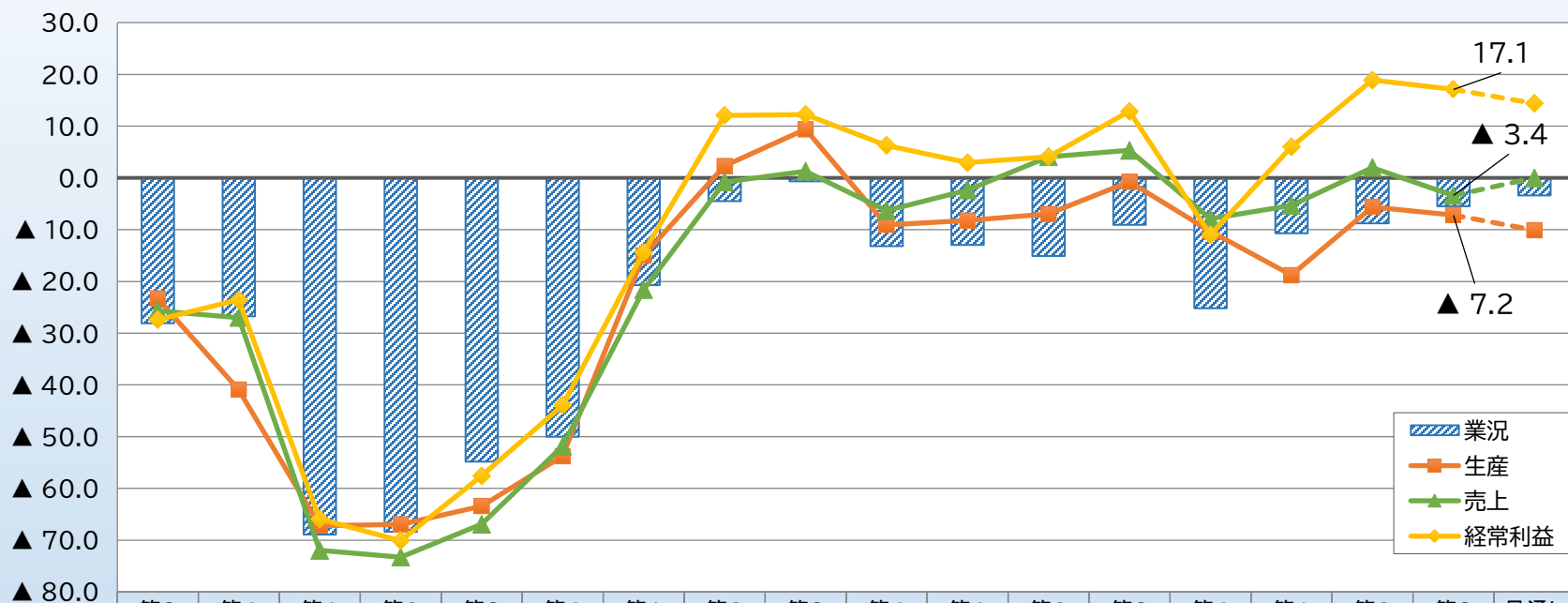


	R1 (2019) 年度		R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
在庫数量	▲ 6.3	▲ 6.4	▲ 14.1	▲ 14.4	▲ 10.9	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 3.2	2.3	▲ 4.5	▲ 1.5	▲ 6.8	5.5	0.6	5.7	6.3	▲ 5.8	▲ 8.3
資金繰り	▲ 10.3	▲ 10.2	▲ 37.8	▲ 23.8	▲ 14.5	▲ 21.7	▲ 15.7	▲ 16.1	▲ 19.7	▲ 24.8	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 17.6	▲ 8.9	▲ 6.5	▲ 9.0	▲ 11.3
引合い	▲ 18.5	▲ 12.2	▲ 62.6	▲ 56.4	▲ 40.3	▲ 45.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 18.6	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 18.8	▲ 11.0	▲ 14.0	▲ 17.4	▲ 21.8

【在庫数量】	今期: ▲5.8とマイナスに転じた。	来期: ▲8.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲9.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲11.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲17.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲21.8とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

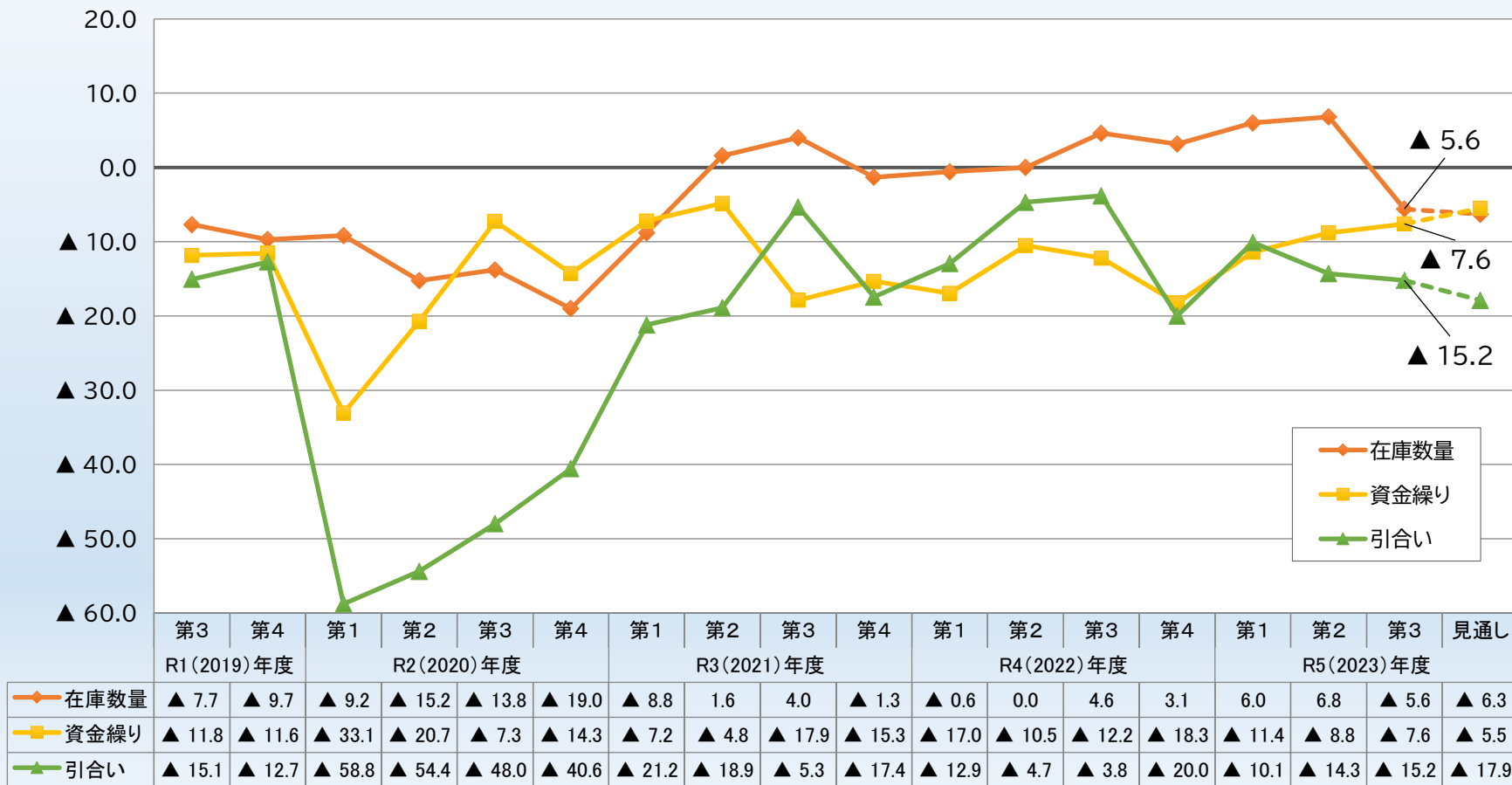


	R1 (2019) 年度		R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度			
業況	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 3.4
生産	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 10.1
売上	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	▲ 3.4	0.0
経常利益	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	18.9	17.1	14.4

【業況】	今期: ▲5.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲3.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲7.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲3.4とマイナスに転じた。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +17.1とプラス幅が縮小した。	来期: +14.4とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

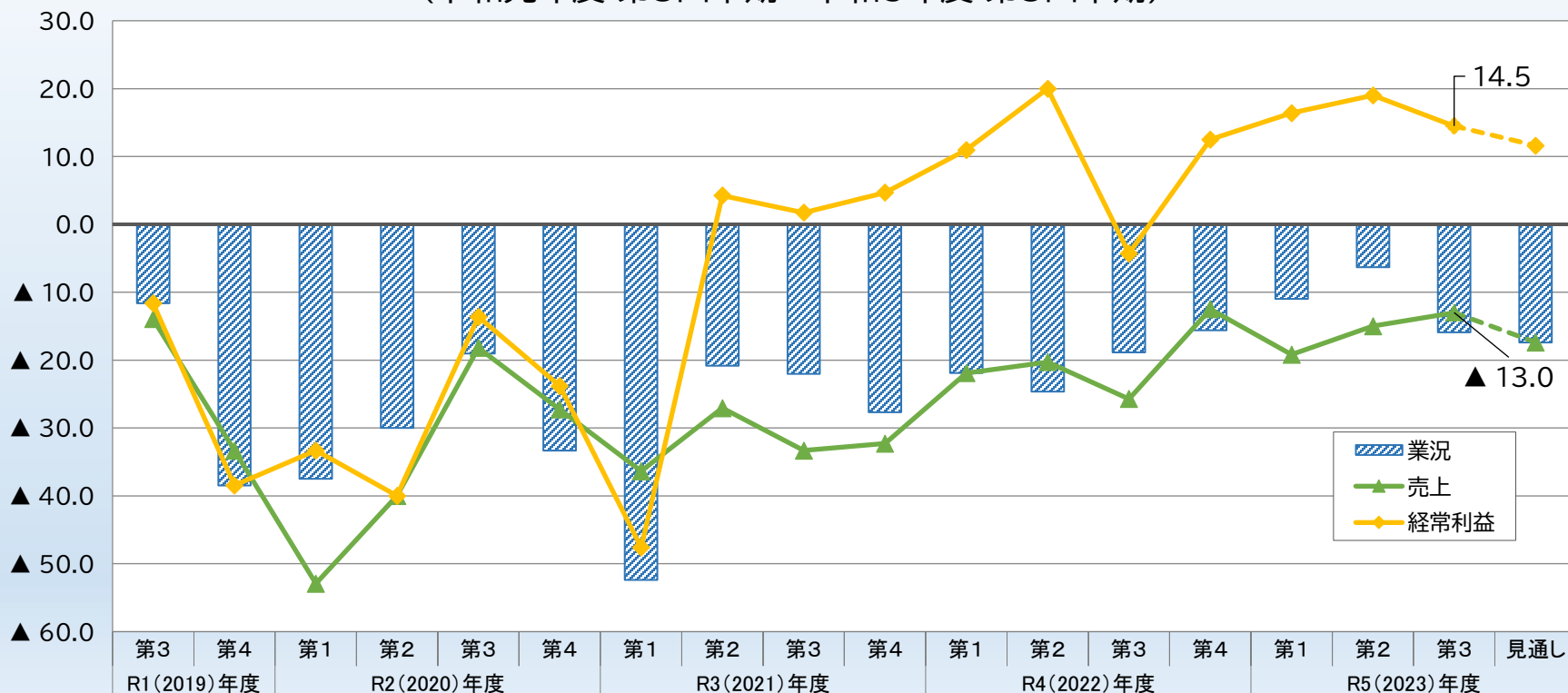
【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度第3四半期～令和5年度第3四半期)



【在庫数量】	今期: ▲5.6とマイナスに転じた。	来期: ▲6.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲7.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲5.5とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲15.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.9とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

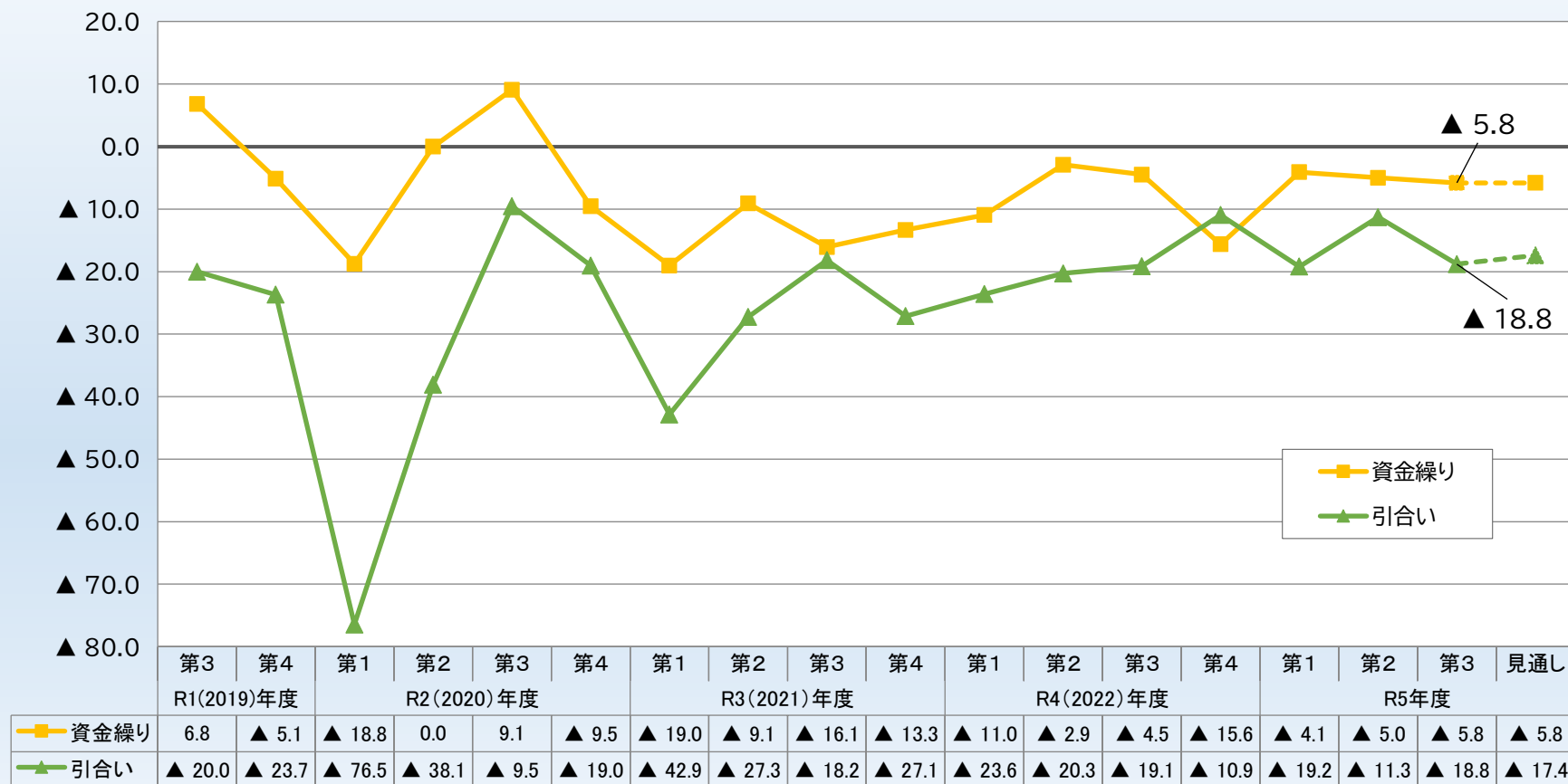
【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度第3四半期～令和5年度第3四半期)



【業況】	今期: ▲15.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲13.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲17.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +14.5とプラス幅が縮小した。	来期: +11.6とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

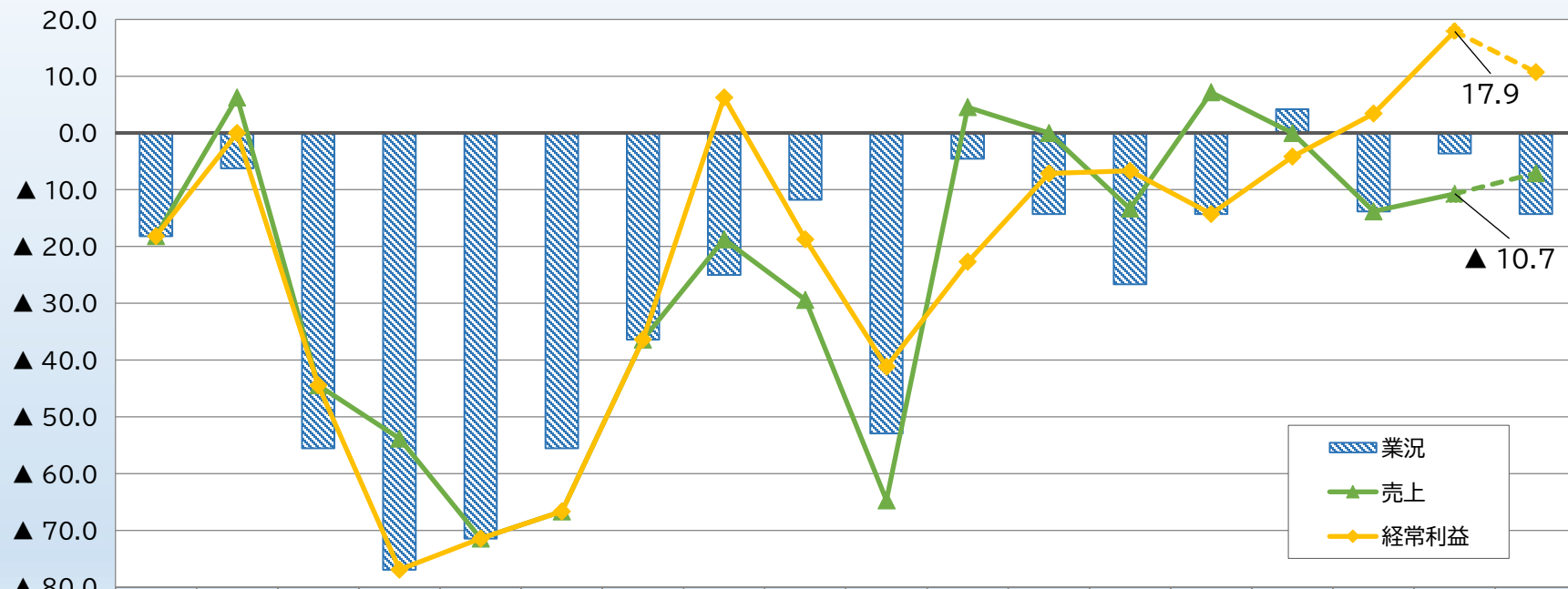
【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)



【資金繰り】	今期: ▲5.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲5.8と同水準の見通し。
【引合い】	今期: ▲18.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.4とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

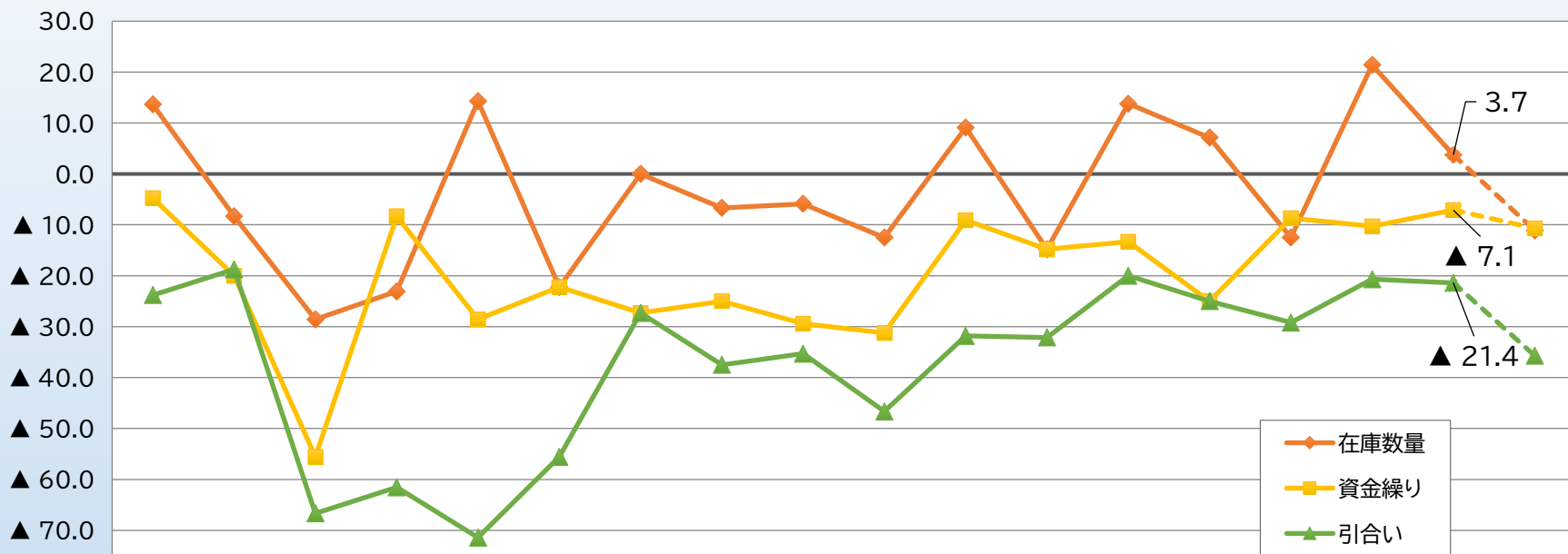


	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し		
	R1 (2019) 年度				R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度			
業況	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 14.3		
売上	▲ 18.2	6.3	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 13.3	7.1	0.0	▲ 13.8	▲ 10.7	▲ 7.1		
経常利益	▲ 18.2	0.0	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 4.2	3.4	17.9	10.7		

【業況】	今期: ▲3.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲10.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲7.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +17.9とプラス幅が拡大した。	来期: +10.7とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

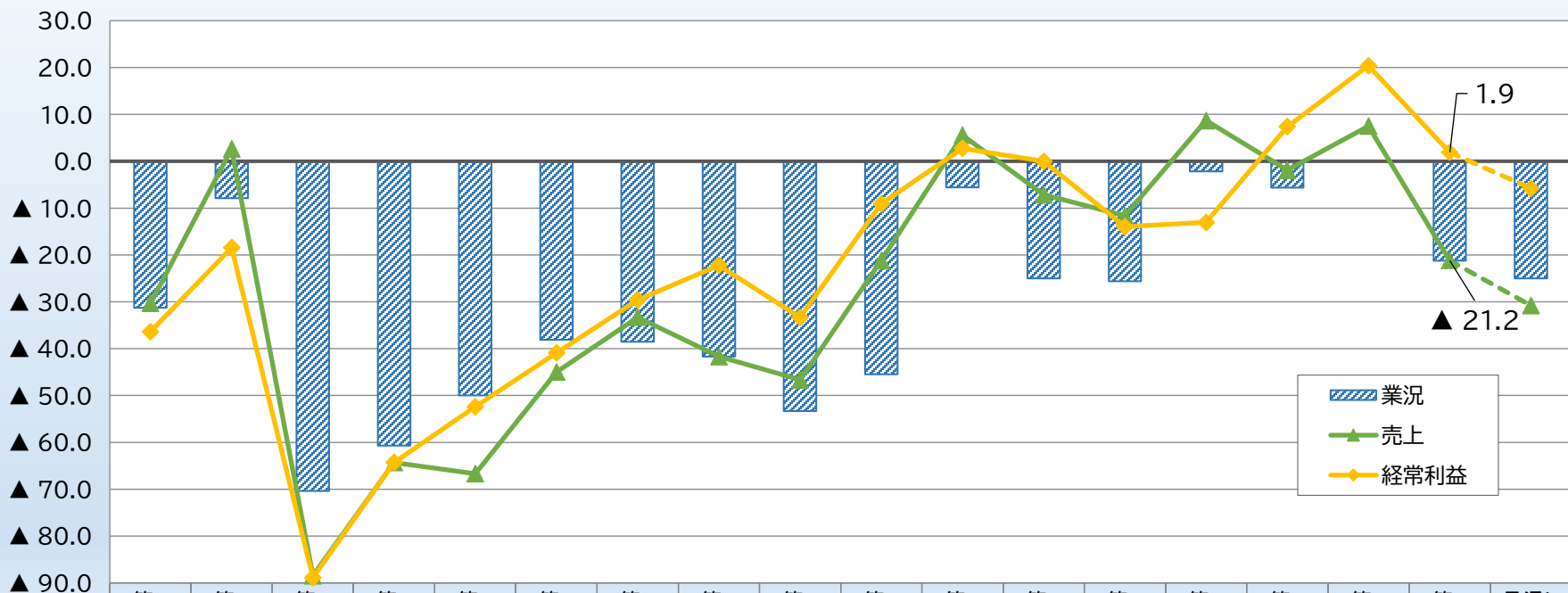


	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し		
	R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度			
在庫数量	13.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 23.1	14.3	▲ 22.2	0.0	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 12.5	9.1	▲ 14.8	13.8	7.1	▲ 12.5	21.4	3.7	▲ 11.1		
資金繰り	▲ 4.8	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 31.3	▲ 9.1	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 7.1	▲ 10.7		
引合い	▲ 23.8	▲ 18.8	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 46.7	▲ 31.8	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.7	▲ 21.4	▲ 35.7		

【在庫数量】	今期: +3.7とプラス幅が縮小した。	来期: ▲11.1とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: ▲7.1とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲10.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲21.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲35.7とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

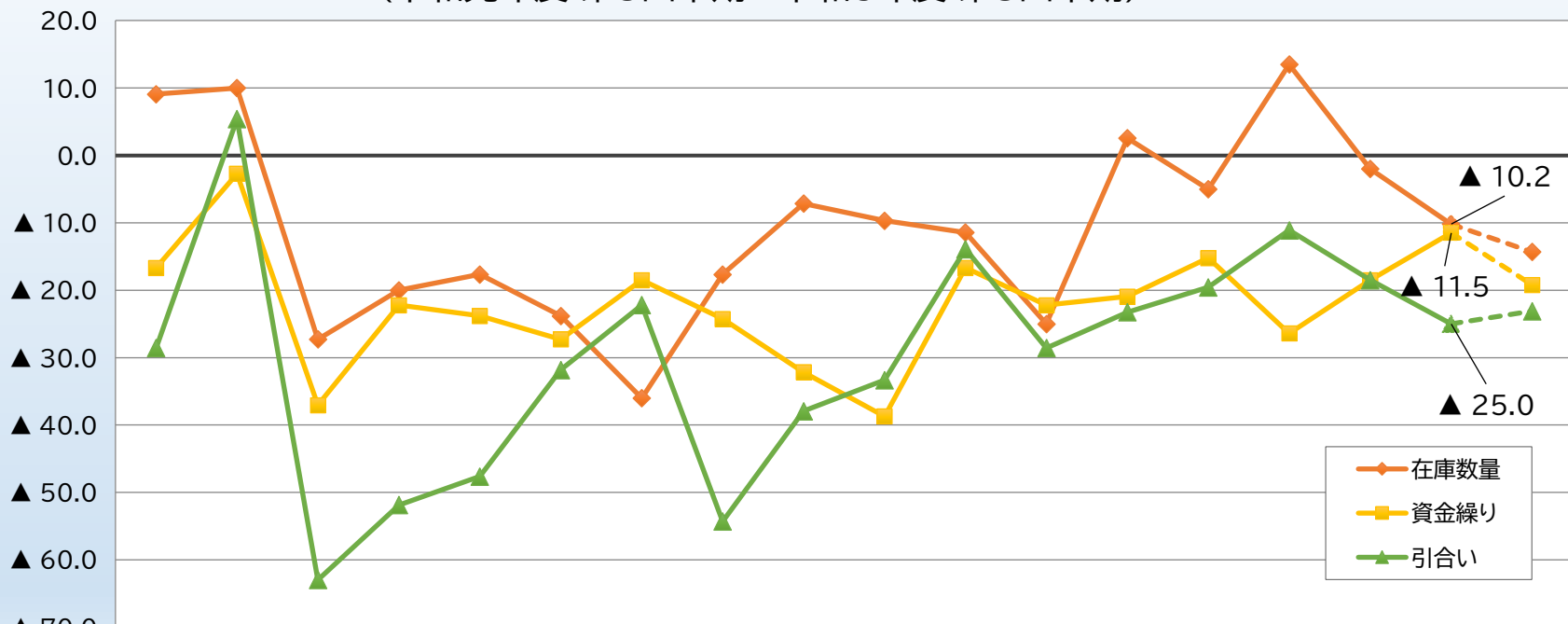


	R1 (2019)年度		R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度		見通し	
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
業況	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 25.0
売上	▲ 30.3	2.6	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	▲ 1.9	7.5	▲ 21.2	▲ 30.8
経常利益	▲ 36.4	▲ 18.4	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	7.4	20.4	1.9	▲ 5.8

【業況】	今期: ▲21.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲21.2とマイナスに転じた。	来期: ▲30.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +1.9とプラス幅が縮小した。	来期: ▲5.8とマイナスに転じる見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

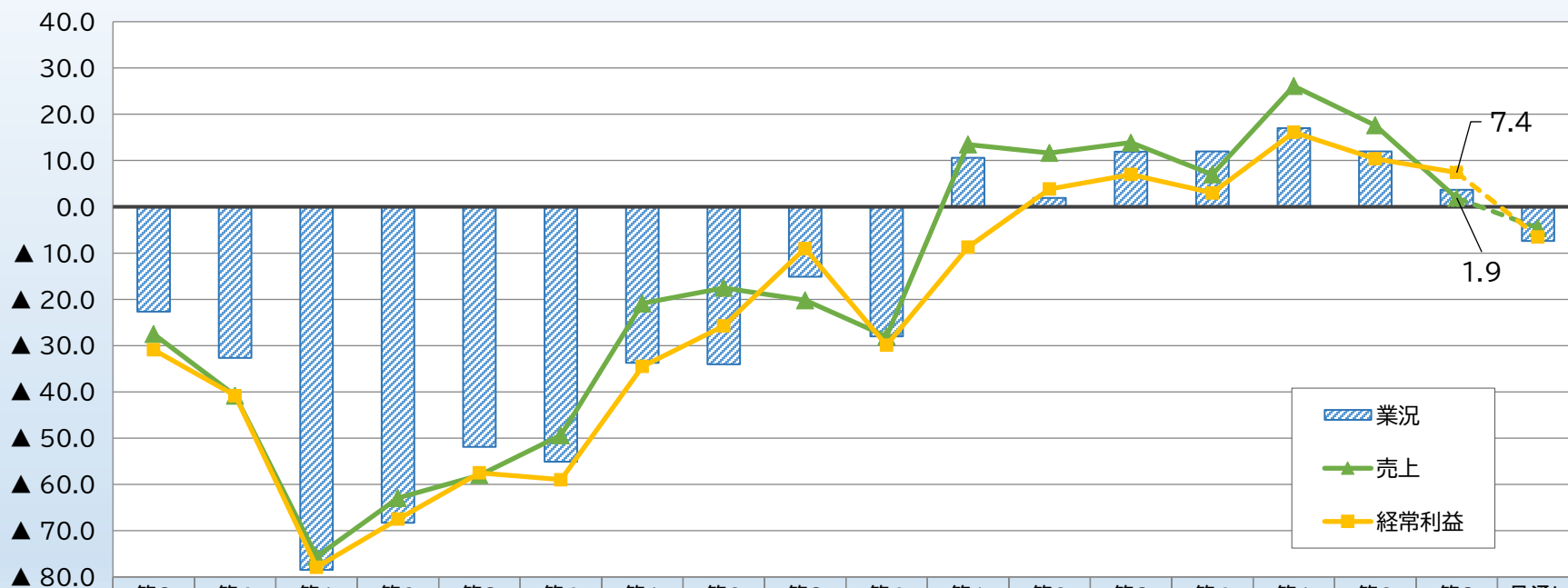


	第3 R1 (2019)年度	第4 R2 (2020)年度	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
在庫数量	9.1	10.0	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 17.6	▲ 23.8	▲ 36.0	▲ 17.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.4	▲ 25.0	2.6	▲ 5.0	13.5	▲ 2.0	▲ 10.2	▲ 14.3
資金繰り	▲ 16.7	▲ 2.7	▲ 37.0	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 27.3	▲ 18.5	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 38.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 26.4	▲ 18.5	▲ 11.5	▲ 19.2
引合い	▲ 28.6	5.4	▲ 63.0	▲ 51.9	▲ 47.6	▲ 31.8	▲ 22.2	▲ 54.3	▲ 37.9	▲ 33.3	▲ 13.9	▲ 28.6	▲ 23.3	▲ 19.6	▲ 11.1	▲ 18.5	▲ 25.0	▲ 23.1

【在庫数量】	今期: ▲10.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲14.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲11.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲19.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲23.1とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第3四半期～令和5年度 第3四半期)

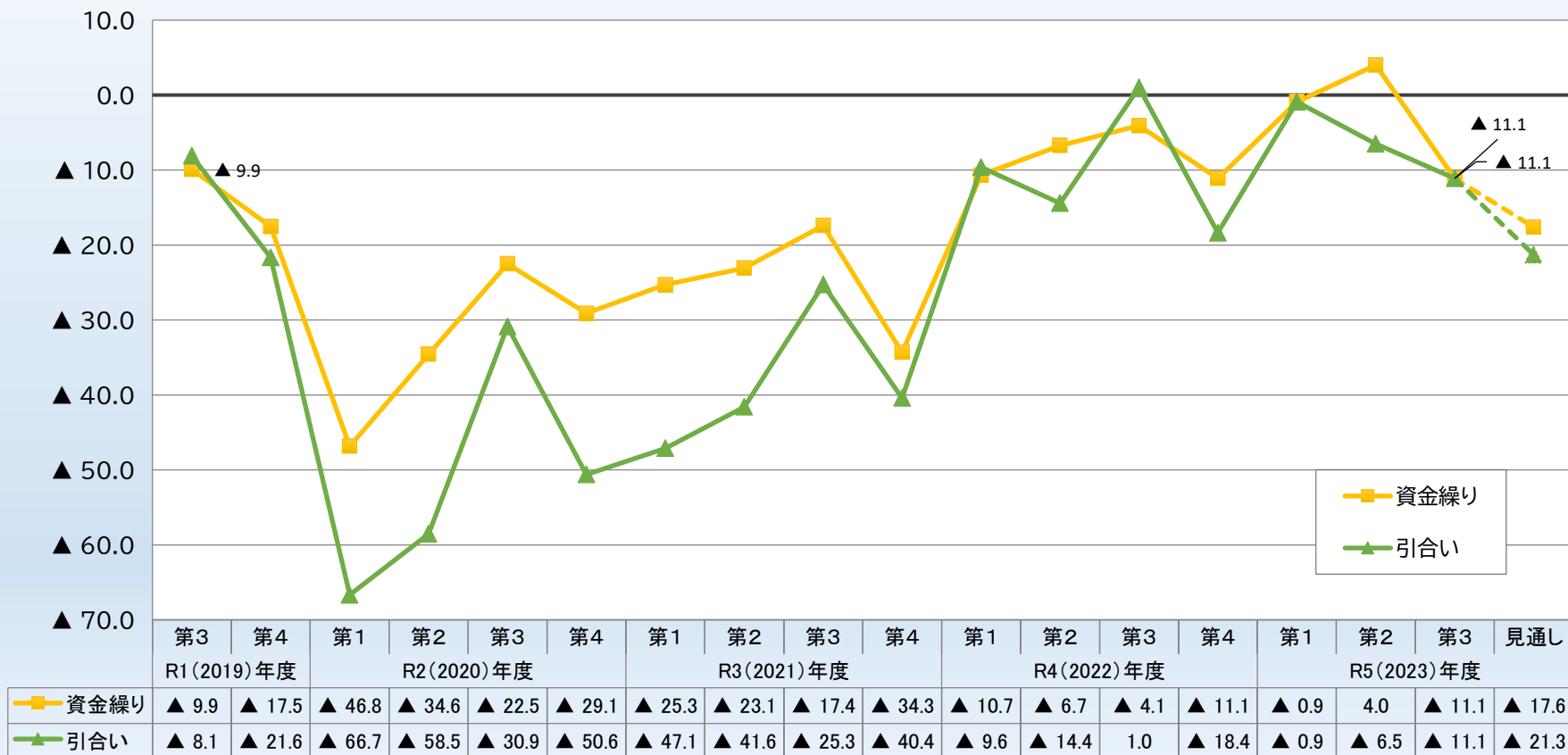


	R1 (2019) 年度				R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し		
業況	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 7.4		
売上	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	7.0	26.1	17.6	1.9	▲ 4.6		
経常利益	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	3.0	16.1	10.4	7.4	▲ 6.5		

【業況】	今期: +3.7とプラス幅が縮小した。	来期: ▲7.4とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期: +1.9とプラス幅が縮小した。	来期: ▲4.6とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +7.4とプラス幅が縮小した。	来期: ▲6.5とマイナスに転じる見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度第3四半期～令和5年度第3四半期)



【資金繰り】	今期: ▲11.1とマイナスに転じた。	来期: ▲17.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲11.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲21.3とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書(令和5年度 第3四半期)



1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	一部顧客で価格改定等により売上、収益が改善。作業員の人手不足と人件費高騰が続いている。	サービス業
	昨年度の受注が短期工事が多かったのに比べ、今期は大規模・長期工事の受注が多いため、売上・採算ともに安定している。	建設業
	販売単価は上昇したが、業界全体の数量は減少している。	製造業
	生鮮品も含め物価の高止まりで売上は確保出来るものの利益率確保が難しい状況が続く見通し。	小売業
	物価高で購買力が落ち、その中で、材料費の高騰の値上げせざるを得ない為、お客様減少の見込み。	サービス業
不変	新規受注もあり、売上増となるが、人件費増、光熱費増により先行き不透明である。	製造業
	人手不足で来期以降は事業を縮小せざるを得ない見通し。	サービス業
	原材料費、光熱水費等の高騰により業績が悪化	サービス業
	人材不足と資材高騰が課題である。	建設業
	物価高による買い控えによる売上高の減少か、コロナ禍以降の生活習慣の劇的変化により影響を受けて売り上げが落ちている。	小売業
悪化	物価高騰による商品購入予算の縮小によって、消費そのものが低迷している。自社直販のみに限らず、卸先である小売・宿泊業等での売上も減少している。	製造業
	コロナウイルス感染症の影響は少なくなったが、婚礼受注が、コロナ前に比較すると大幅に落ち込んだままで回復していない。	サービス業
	燃料高騰により輸送コスト、建材コスト、納期遅延により事業悪化。	建設業
	仕入価格が頻繁に上昇する中、価格転嫁が追い付かない。	卸売業

1. 調査概要

2. 全体

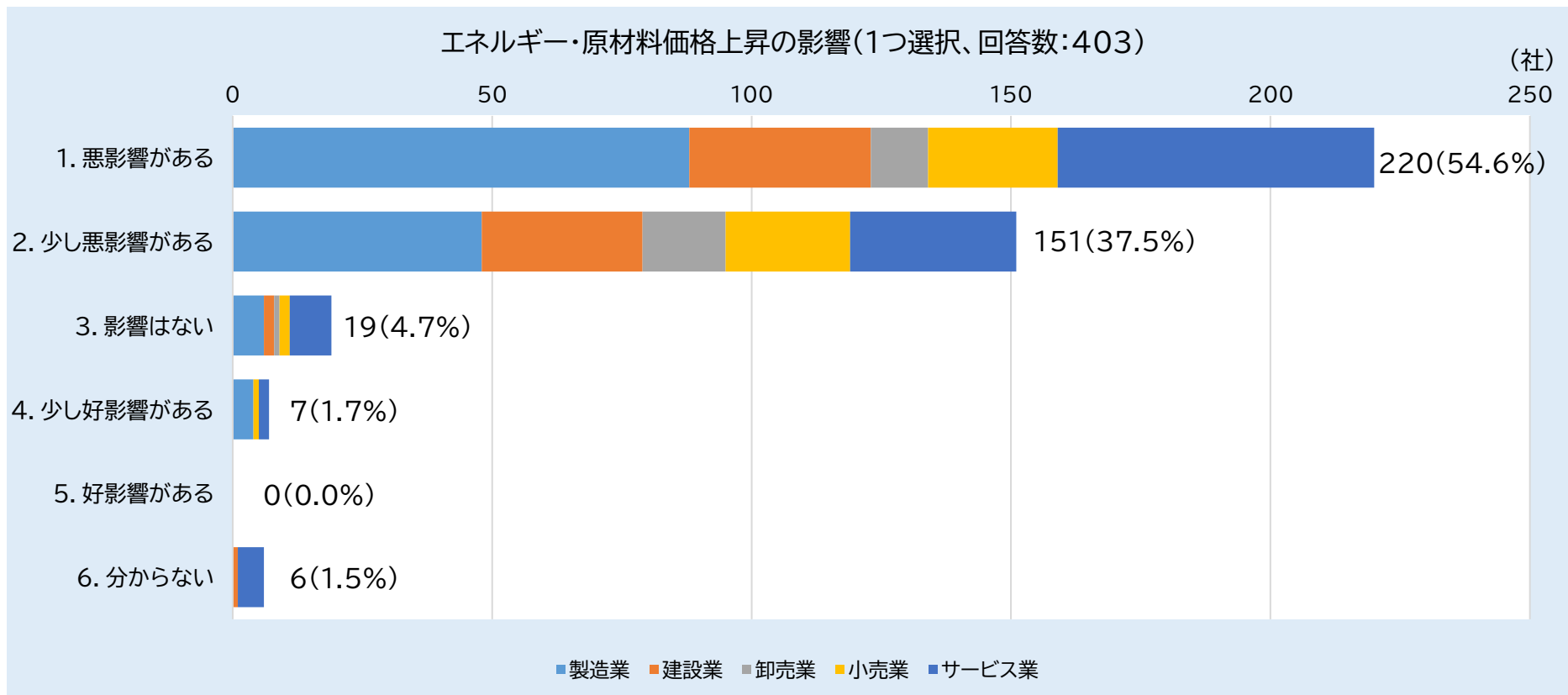
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響(全体)

- エネルギー・原材料価格上昇の影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約92%に上った。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

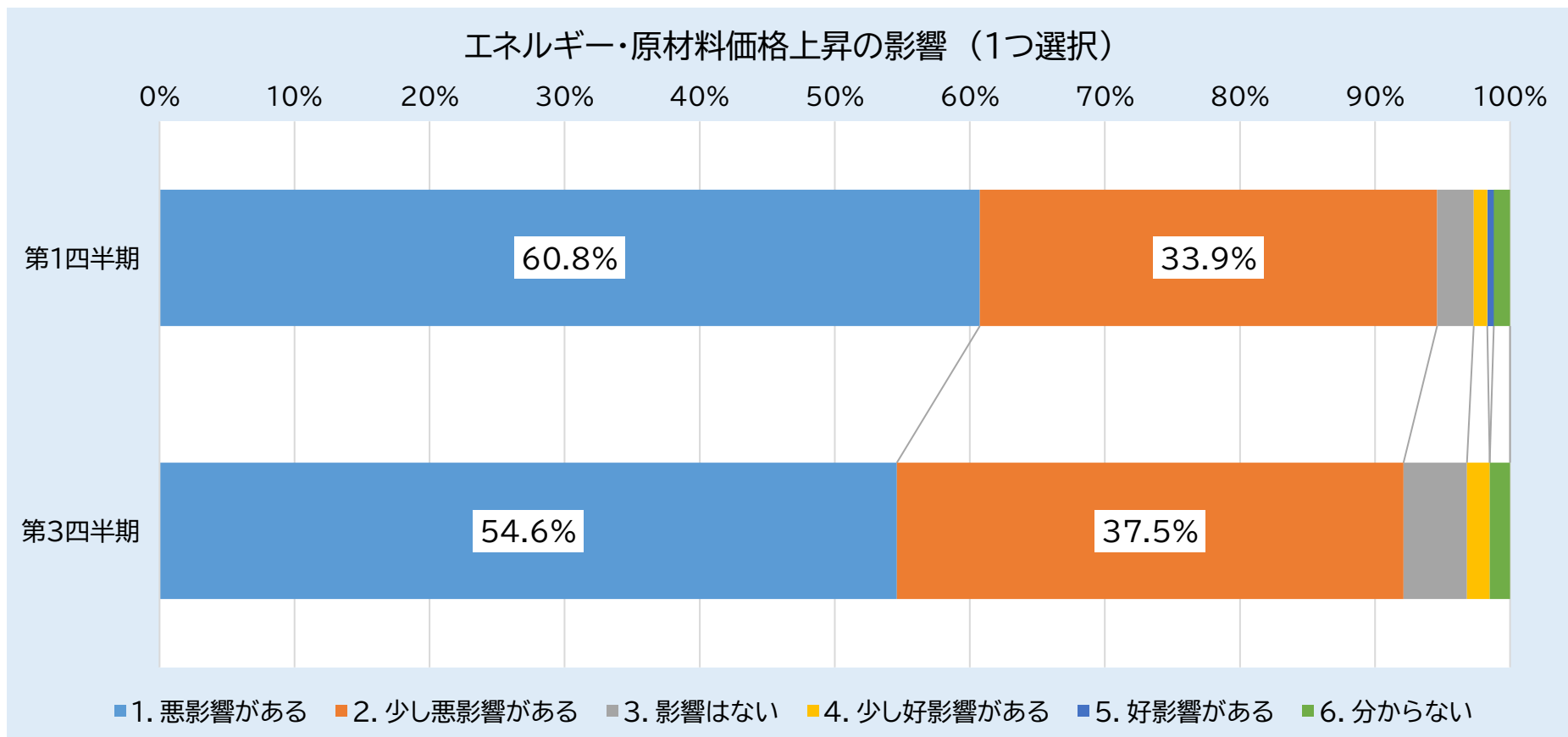
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響(第1四半期との比較)

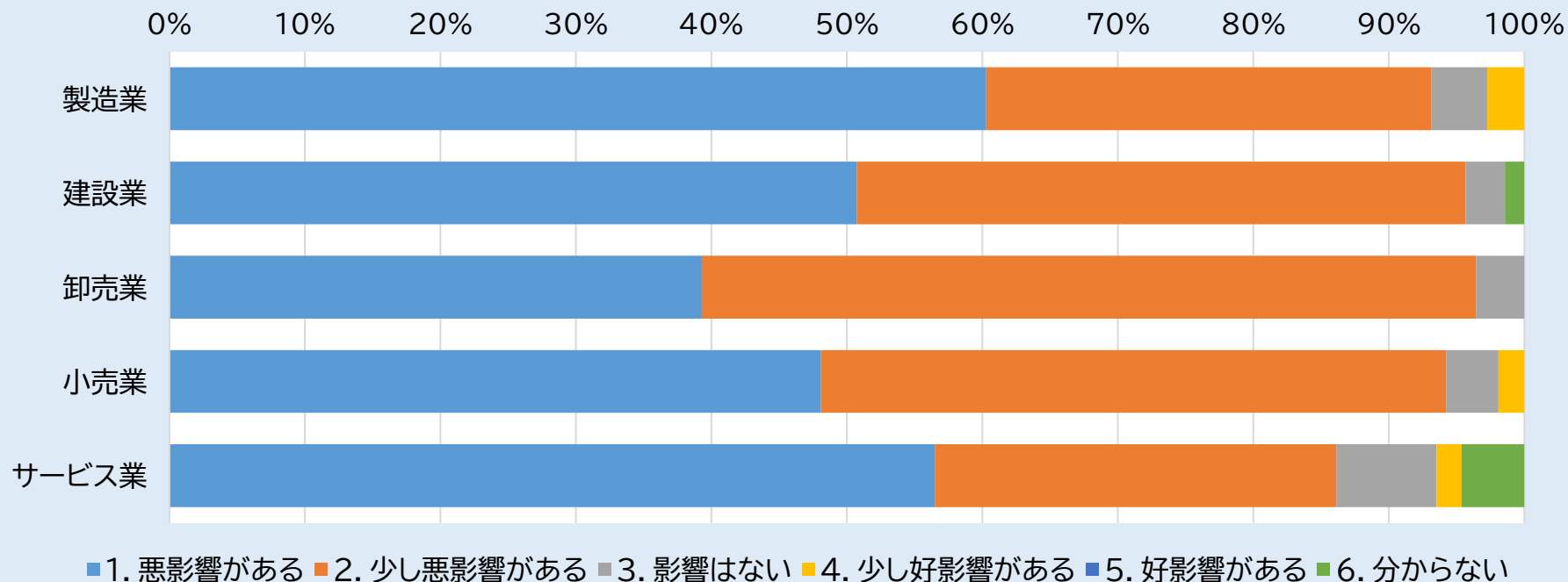
- エネルギー・原材料価格上昇の影響について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、いずれも全体の90%以上を占めた。



エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響（業種別）

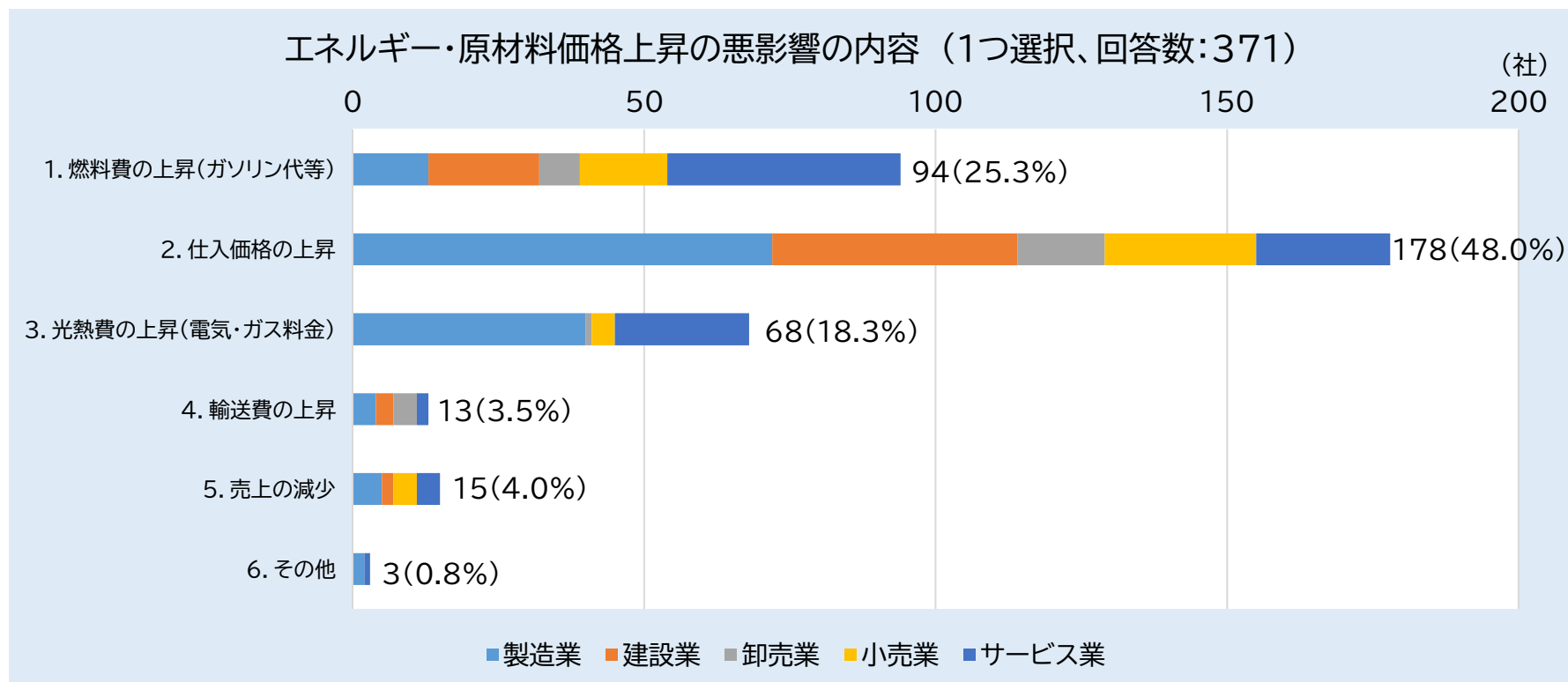
- エネルギー・原材料価格上昇の影響について業種別にみると、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、サービス業を除く全業種で90%を超えた。
- 製造業、建設業、サービス業では、「悪影響がある」が50%を超えた。

エネルギー・原材料価格上昇の影響（1つ選択）



エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(全体)

- エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容を尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「燃料費の上昇」、「光熱費の上昇」の順に多かった。

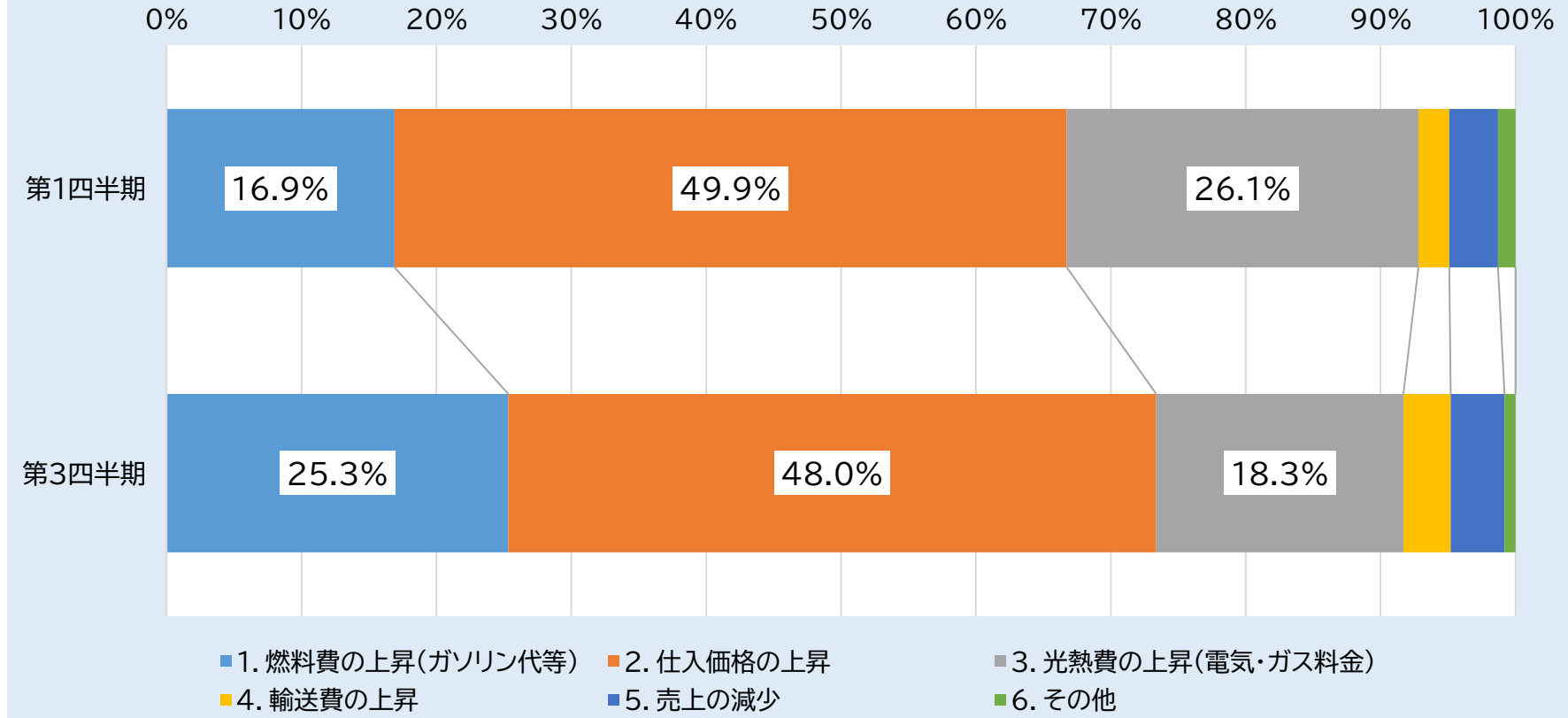


※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(第1四半期との比較)

- エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「燃料費の上昇」の割合が増加し、「光熱費の上昇」の割合が減少した。

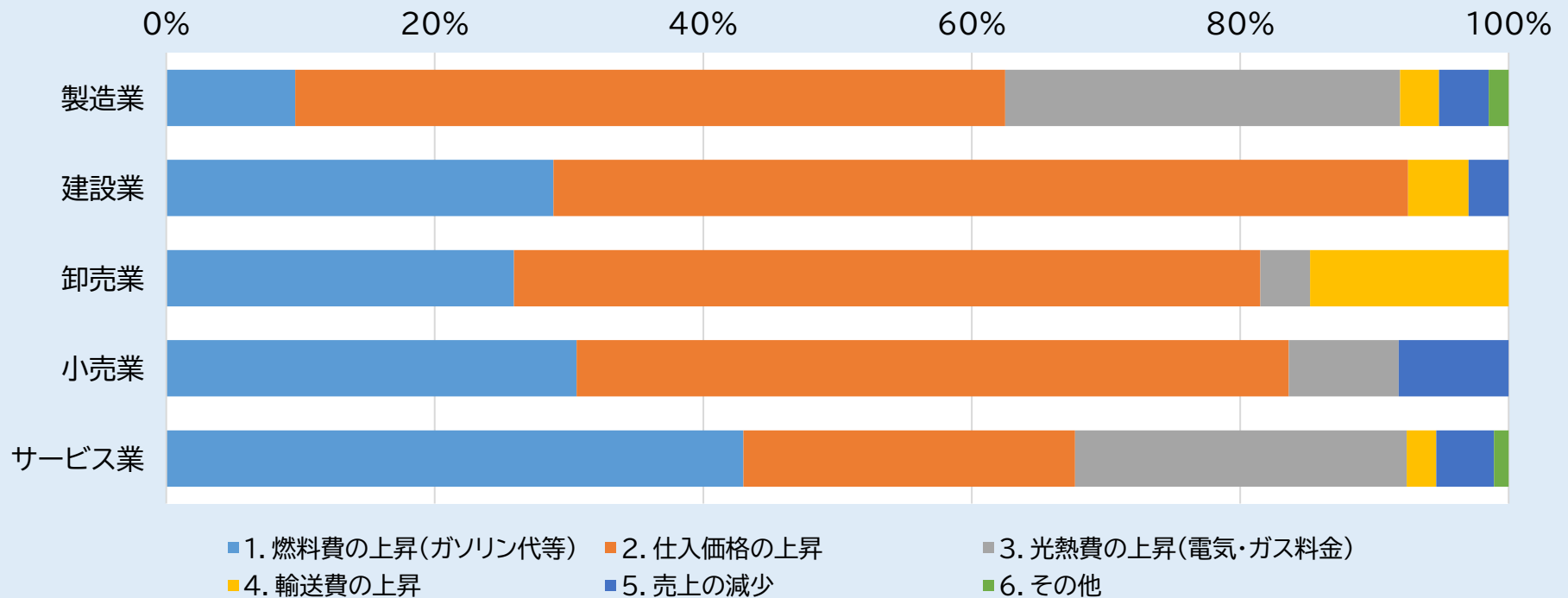
エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容



エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(業種別)

- エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容について業種別にみると、サービス業では「燃料費の上昇」が最も多く、製造業、建設業、卸売業、小売業では「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 建設業では6割以上の企業が「仕入価格の上昇」と回答した。

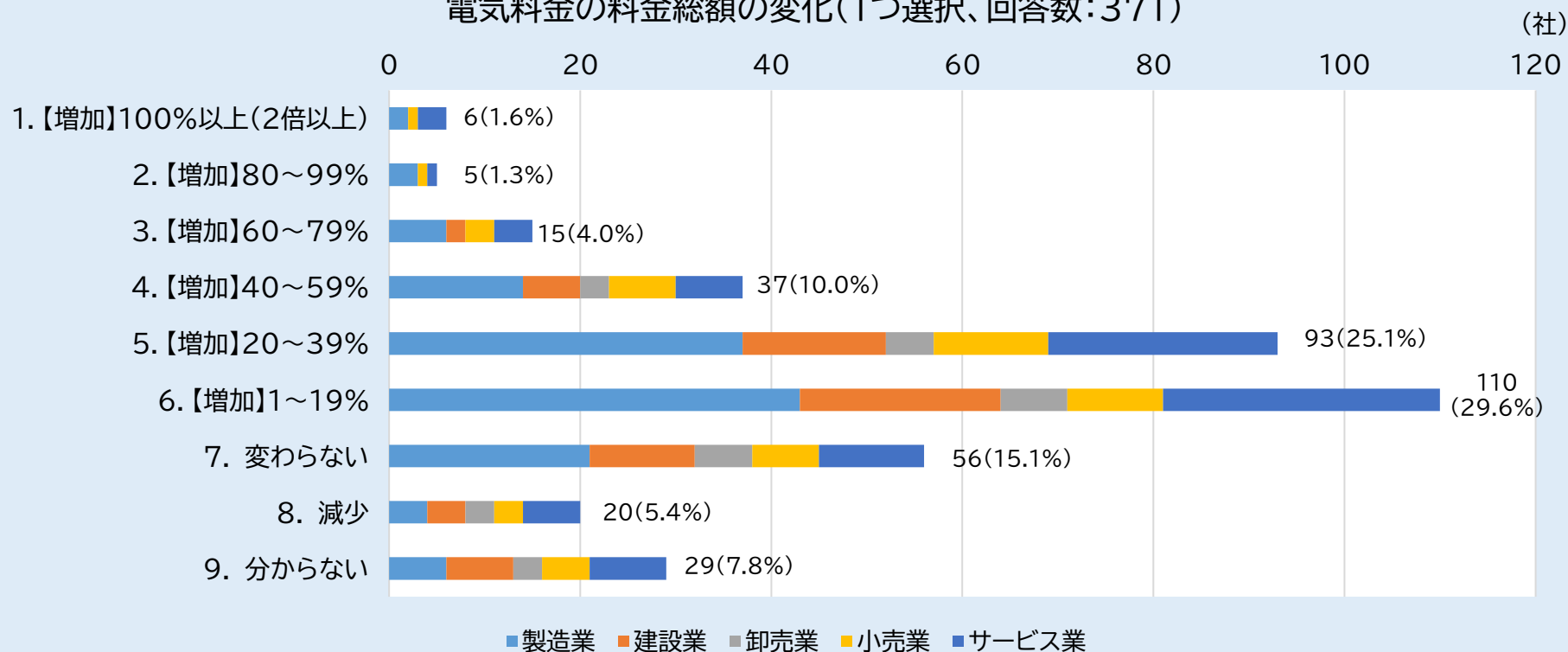
エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容 (1つ選択)



電気料金の料金総額の変化(全体)

- 電気料金について、料金総額が1年前と比べてどのように変化したかを尋ねたところ、「【増加】1～19%」が最も多かった。
- 次いで「【増加】20～39%」、「変わらない」の順に多かった。

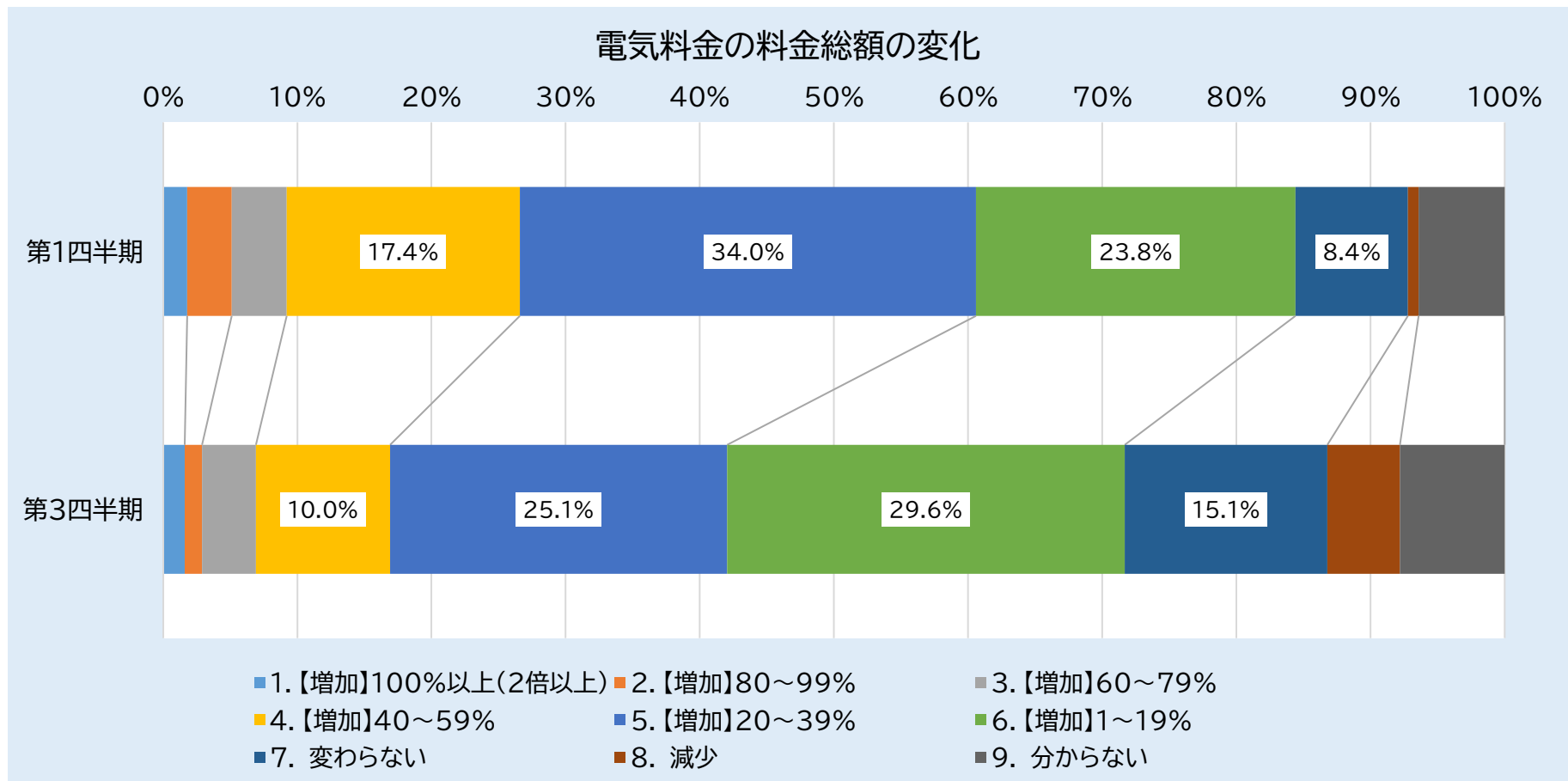
電気料金の料金総額の変化(1つ選択、回答数:371)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

電気料金の料金総額の変化(第1四半期との比較)

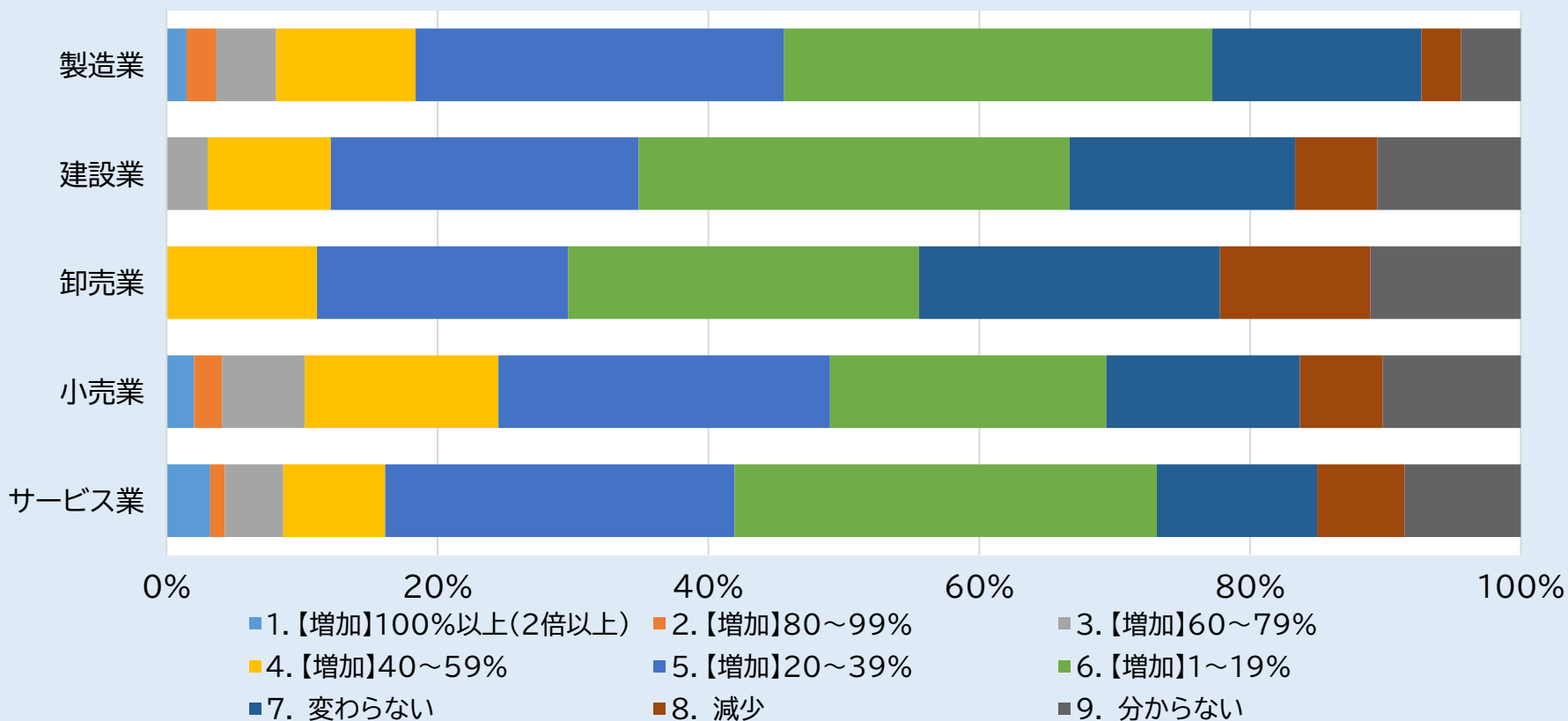
- 電気料金の総額の変化について第1四半期と第3四半期を比較したところ、「【増加】40～59%」「【増加】20～39%」の割合が減少し、「【増加】1～19%」「変わらない」の割合が増加した。



電気料金の料金総額の変化(業種別)

- 電気料金の総額の変化について業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、サービス業では「【増加】1~19%」が最も多く、小売業では「【増加】20~39%」が最も多かった。

電気料金の料金総額の変化(業種別)



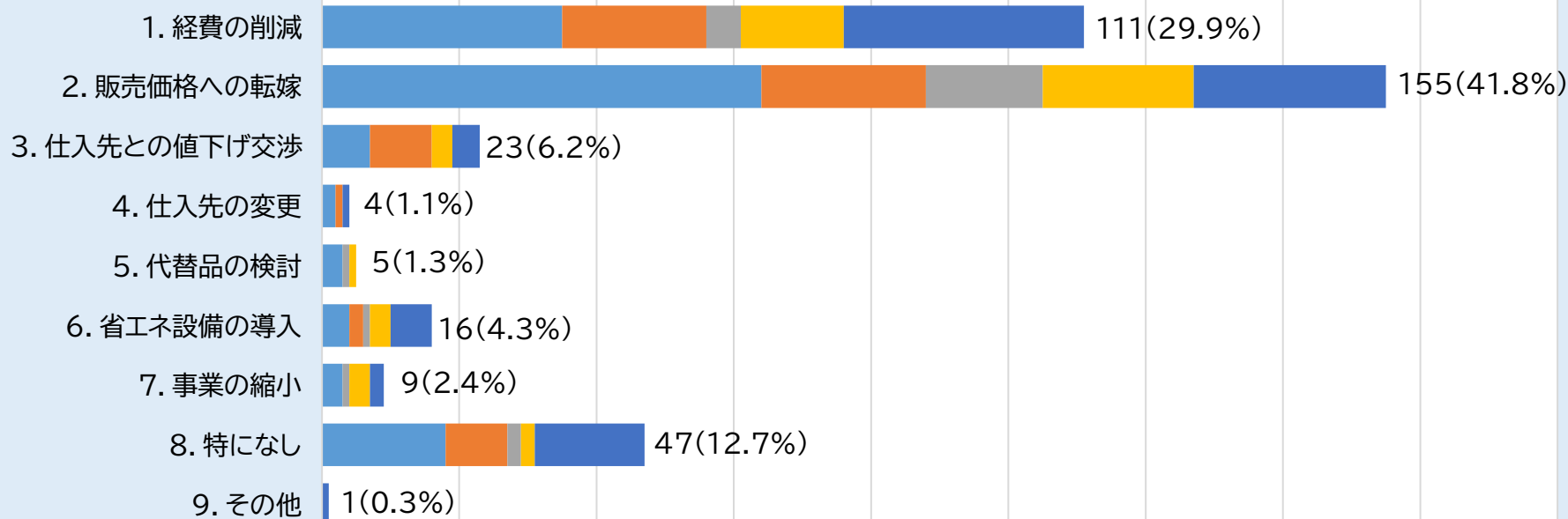
エネルギー・原材料価格の上昇への対策（全体）

- エネルギー・原材料価格上昇への対策を尋ねたところ、「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- 次いで「経費の削減」、「特になし」の順に多かった。

エネルギー・原材料価格上昇への対策（1つ選択、回答数：371）

（社）

0 20 40 60 80 100 120 140 160 180



■ 製造業 ■ 建設業 ■ 卸売業 ■ 小売業 ■ サービス業

※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

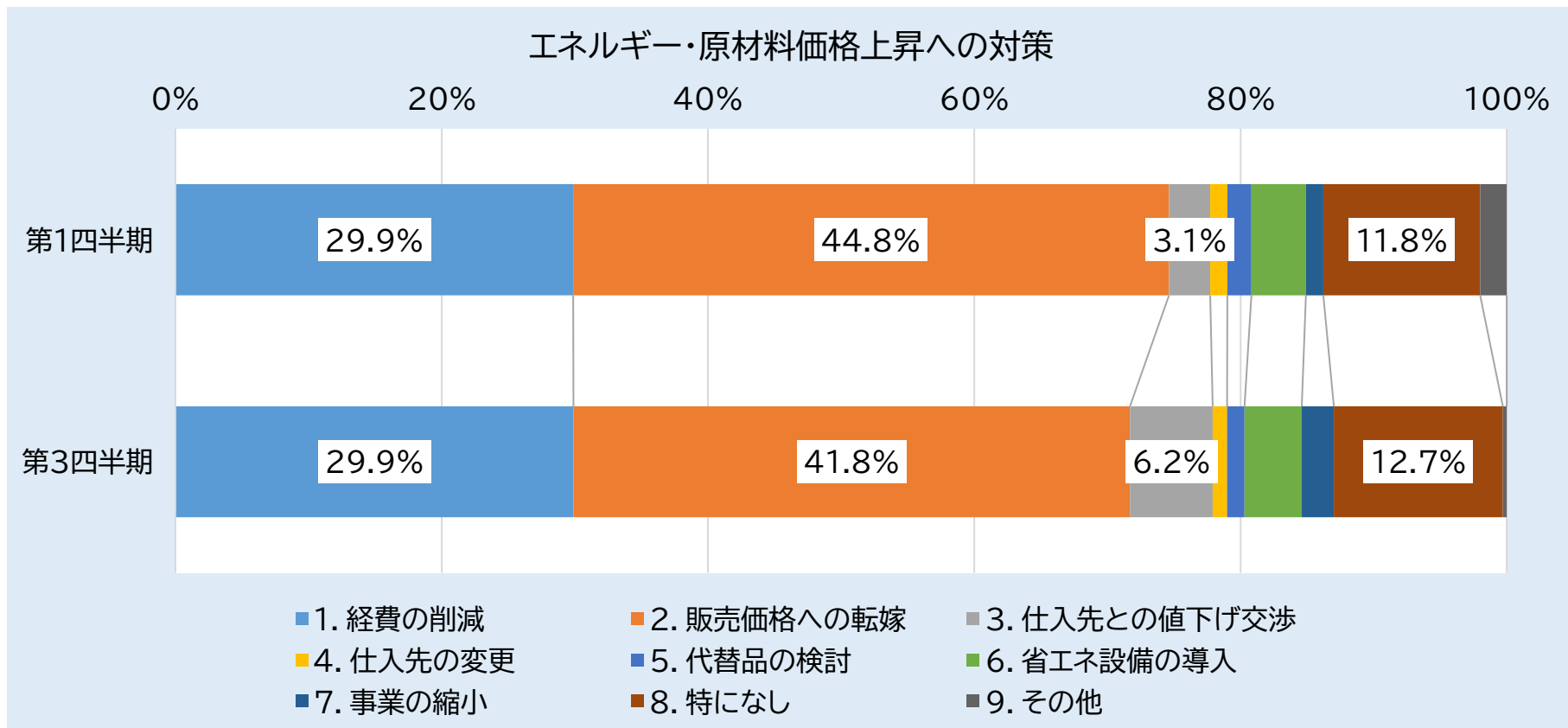
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

エネルギー・原材料価格の上昇への対策(第1四半期との比較)

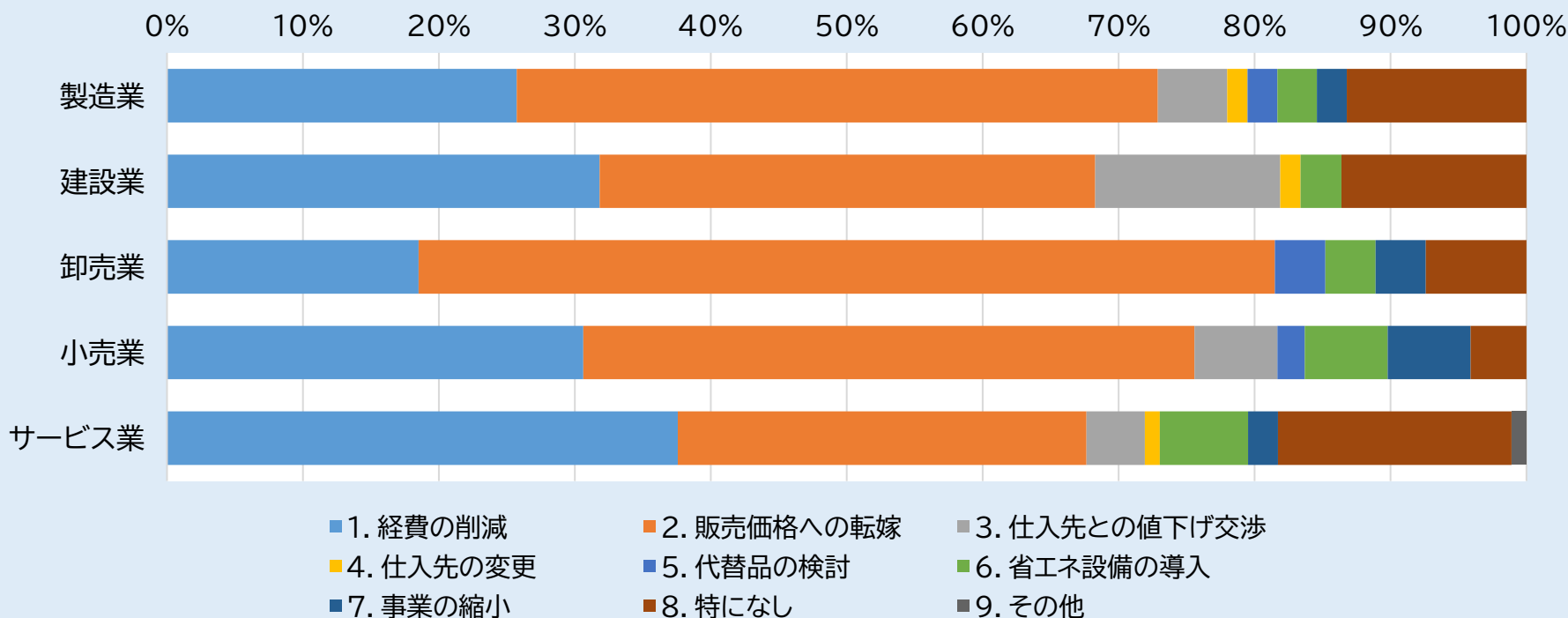
- エネルギー・原材料価格上昇への対策について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「販売価格への転嫁」の割合が減少し、「仕入先との値下げ交渉」の割合が増加した。



エネルギー・原材料価格の上昇への対策(業種別)

- エネルギー・原材料価格上昇への対策について業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、小売業では「販売価格への転嫁」が最も多く、サービス業では、「経費の削減」が最も多かった。
- 製造業、建設業、サービス業では、1割以上の企業が「特になし」と回答した。

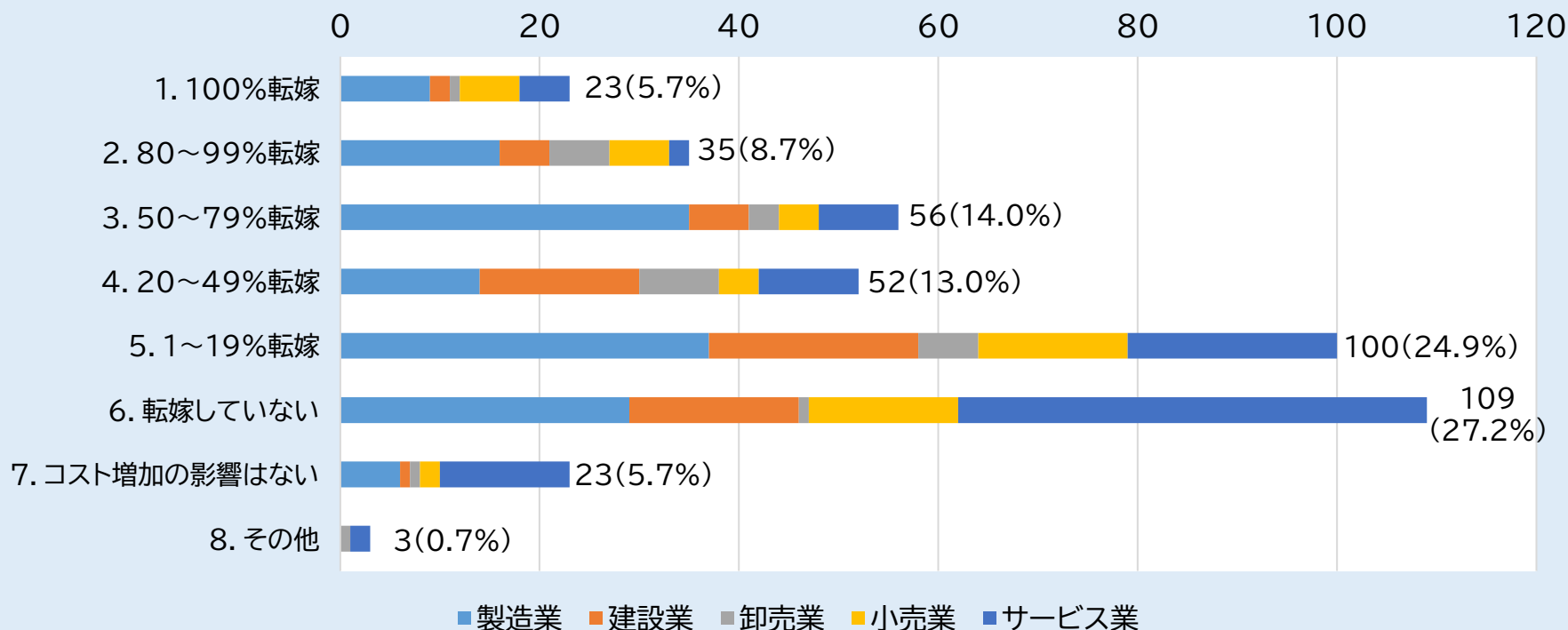
エネルギー・原材料価格上昇への対策(業種別)



エネルギー・原材料価格上昇による販売価格への影響(全体)

- エネルギー・原材料価格上昇による販売価格への影響について尋ねたところ、「転嫁していない」が最も多かった。
- 次いで「1～19%転嫁」、「50～79%転嫁」の順に多かった。

販売価格への影響(1つ選択、回答数:401)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

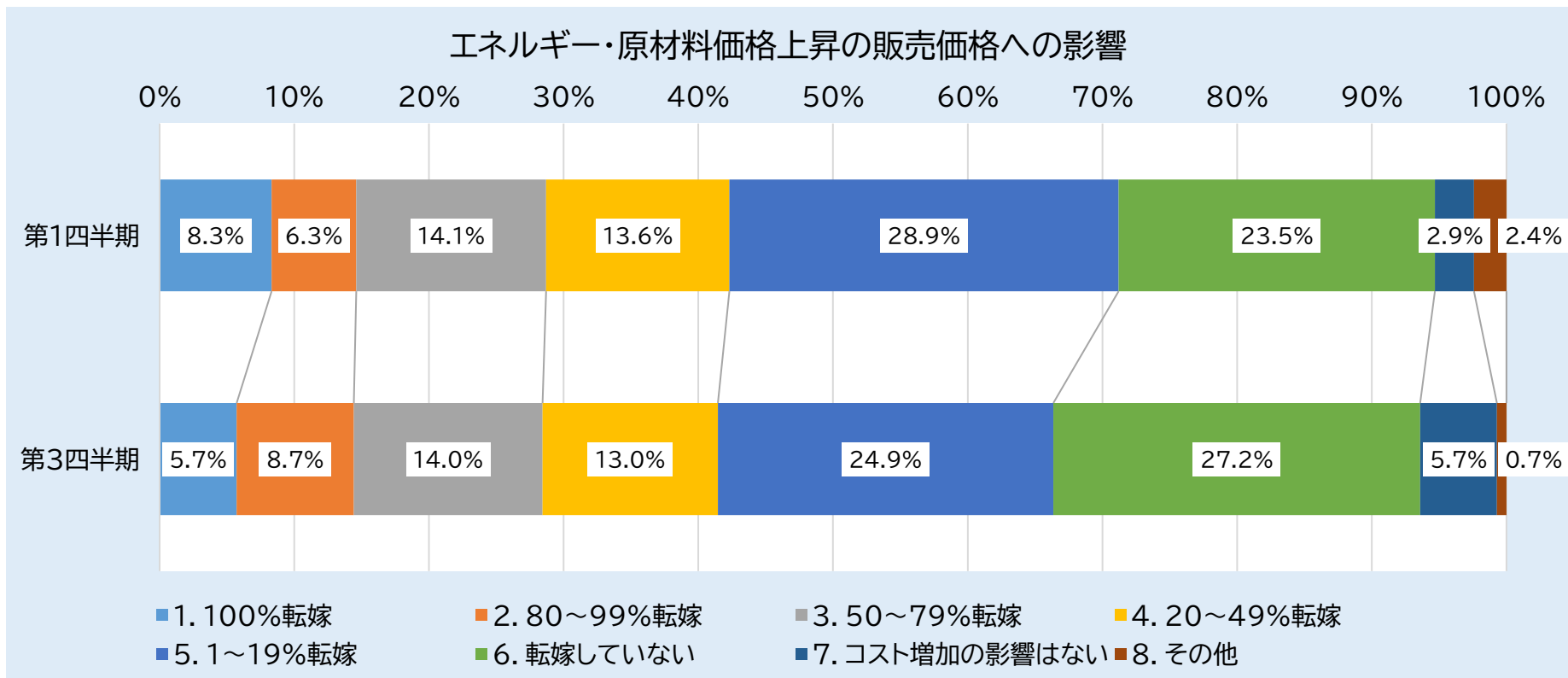
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

エネルギー・原材料価格上昇による販売価格への影響(第1四半期との比較)

- エネルギー・原材料価格上昇による販売価格への影響について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「転嫁していない」の割合が増加した。
 - 一方で、価格転嫁率50%未満の割合は若干減少した(66%→65%)
- ※価格転嫁率50%未満…「20～49%転嫁」、「1～19%転嫁」、「転嫁していない」の合計

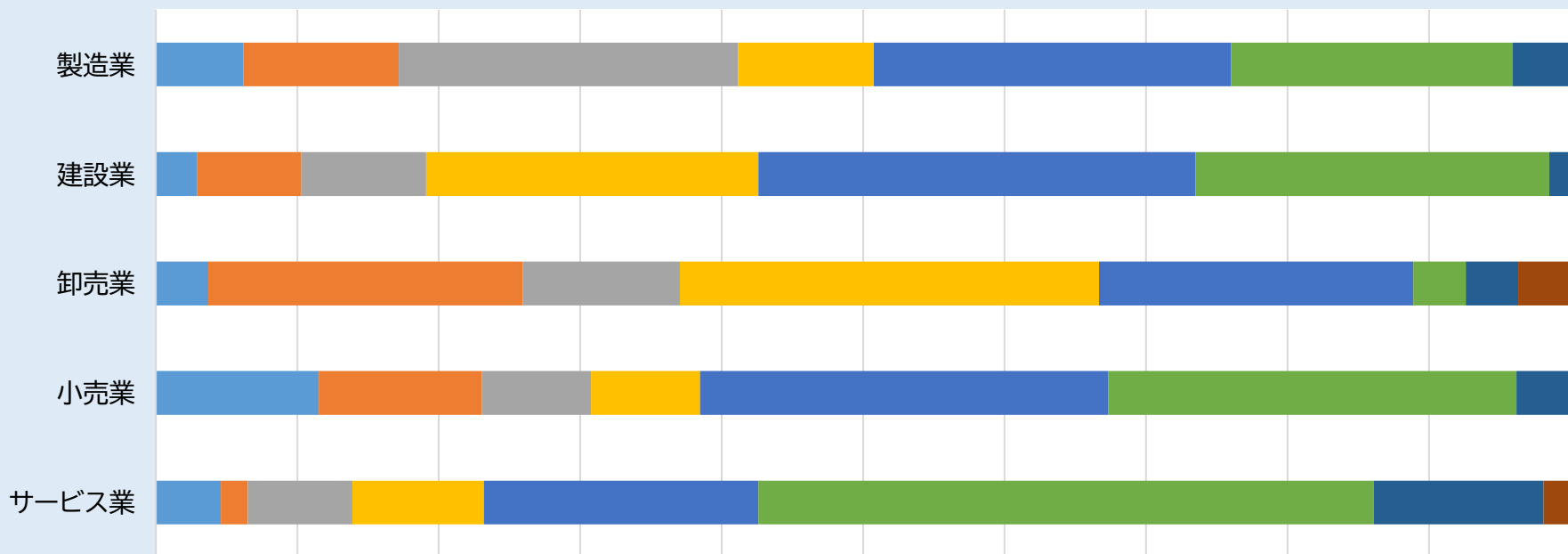


エネルギー・原材料価格上昇による販売価格への影響(業種別)

- エネルギー・原材料価格上昇による販売価格への影響について業種別にみると、製造業、建設業は「1~19%転嫁」が最も多く、卸売業は「20~49%転嫁」が最も多く、サービス業は「転嫁していない」が最も多かった。
小売業は、「1~19%転嫁」「転嫁していない」が同水準で最も多かった。

販売価格への影響(業種別)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 1. 100%転嫁
 ■ 2. 80~99%転嫁
 ■ 3. 50~79%転嫁
 ■ 4. 20~49%転嫁
■ 5. 1~19%転嫁
 ■ 6. 転嫁していない
 ■ 7. コスト増加の影響はない
 ■ 8. その他

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

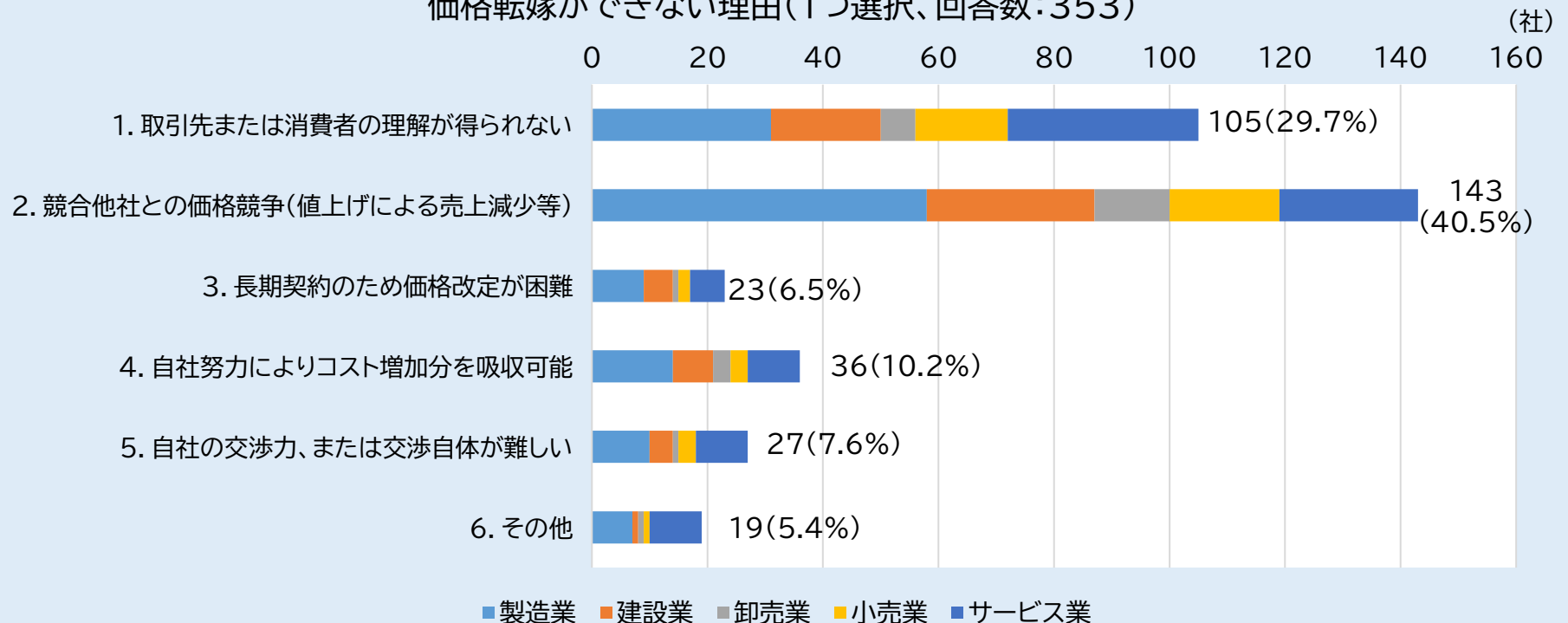
4. 業種別

5. 追加設問

販売価格への転嫁ができない理由(全体)

- 販売価格への転嫁ができない理由について尋ねたところ、「競合他社との価格競争(値上げによる売上減少等)」が最も多かった。
- 次いで「取引先または消費者の理解が得られない」、「自社努力によりコスト増加分を吸収可能」の順に多かった。

価格転嫁ができない理由(1つ選択、回答数:353)

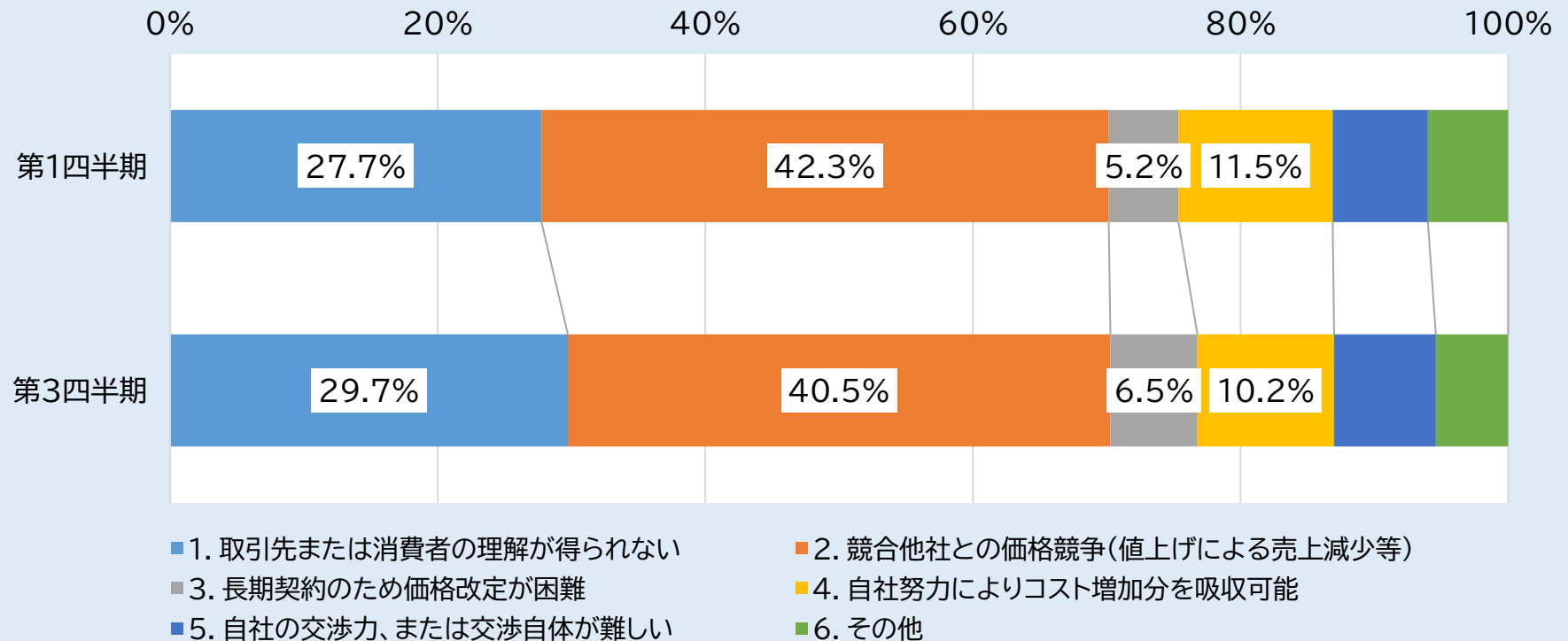


※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

販売価格への転嫁ができない理由(第1四半期との比較)

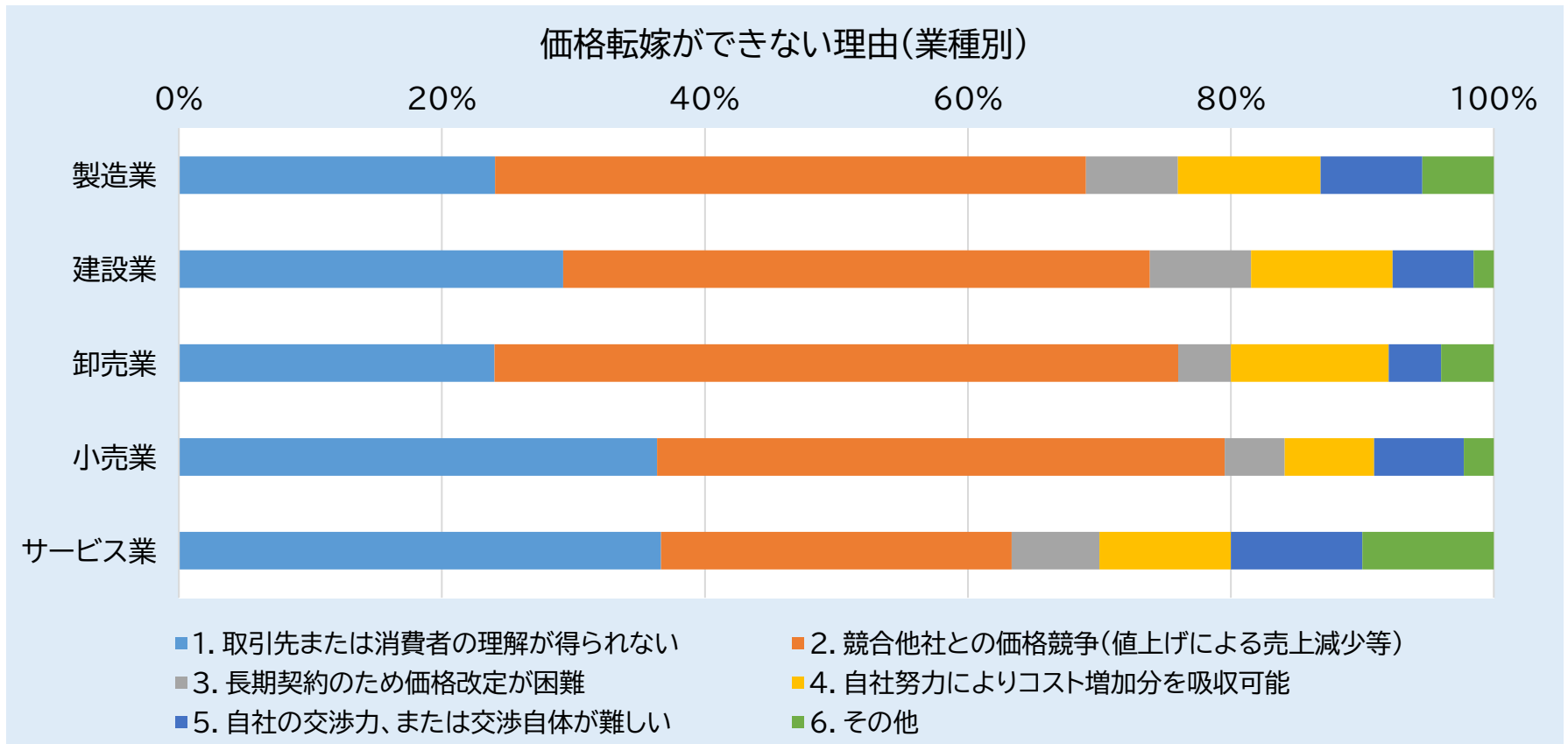
- 販売価格への転嫁ができない理由について、第1四半期と第3四半期を比較したところ、「取引先または消費者の理解が得られない」、「長期契約のため価格改定が困難」の割合が増加した。
- 一方、「競合他社との価格競争(値上げによる売上減少等)」の割合は減少した。

販売価格への転嫁ができない理由



販売価格への転嫁ができない理由(業種別)

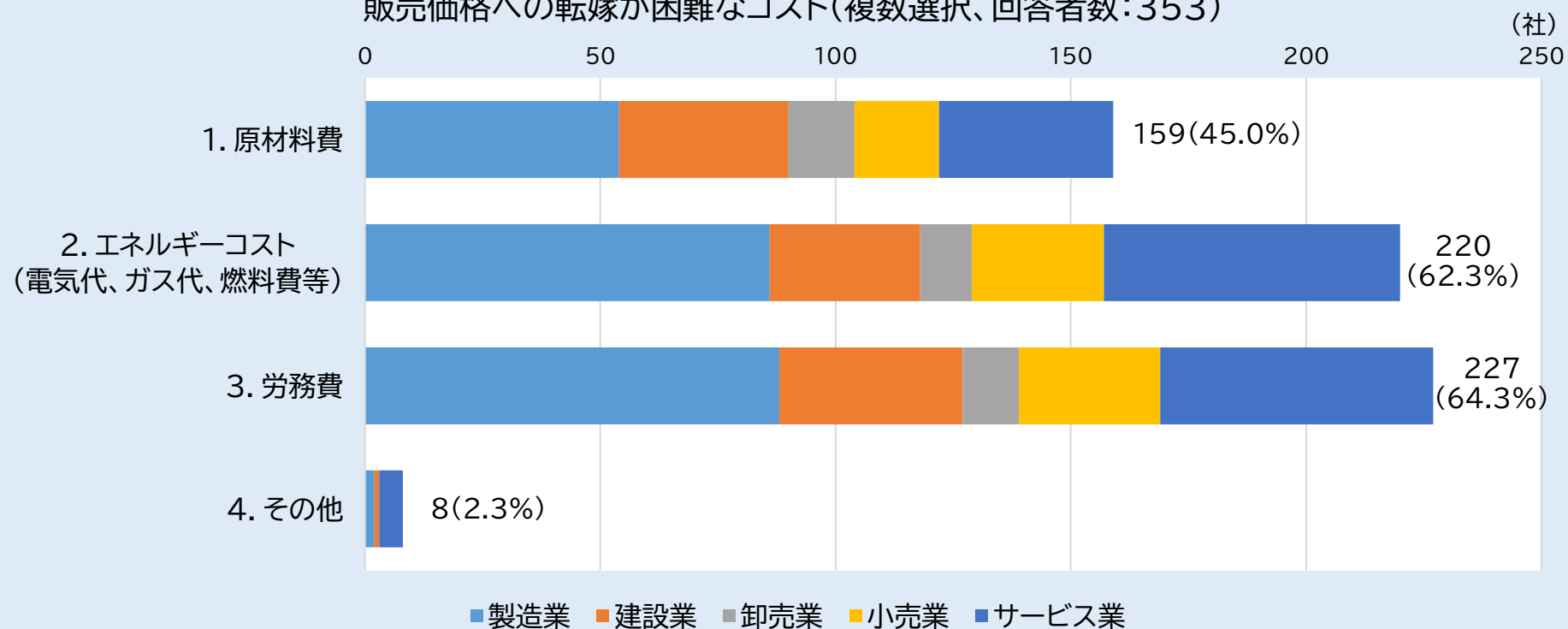
- 販売価格への転嫁ができない理由について、業種別にみると、サービス業では「取引先または消費者の理解が得られない」が最も多く、製造業、建設業、卸売業、小売業では「競合他社との価格競争(値上げによる売上減少等)」が最も多かった。



販売価格への転嫁が困難なコスト(全体)

- 販売価格への転嫁が困難なコストについて尋ねたところ、「労務費」が最も多かった。
- 次いで「エネルギーコスト(電気代、ガス代、燃料費等)」、「原材料費」の順に多かった。

販売価格への転嫁が困難なコスト(複数選択、回答者数:353)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

販売価格への転嫁が困難なコスト(業種別)

- 販売価格への転嫁が困難なコストについて、業種別にみると、製造業、建設業、小売業では「労務費」が最も多く、卸売業では「原材料費」が最も多く、サービス業では「エネルギーコスト(電気代、ガス代、燃料費等)」が最も多かった。

